

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（609）

2. 日時：令和6年2月22日 10時00分～12時05分
13時30分～15時05分

3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、宮本上席安全審査官※、
熊谷主任安全審査官、藤原主任安全審査官、小野安全審査官※、
谷口技術参与、中房技術参与、三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋副主任技術研究調査官、石田技術参与

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（安全設計担当）、他8名

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）※、他5名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 耐津波設計方針について（入力津波の設定に係る指摘事項回答及び入力津波の評価条件について）
- （2）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第5条 津波による損傷の防止（DB05 r. 3. 45）
- （3）（ ）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）比較表 第5条 津波による損傷の防止（DB05-9 r. 3. 6）
- （4）泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表（第5条 津波による損傷の防止（耐津波設計方針））
- （5）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損傷の防止（入力津波））
- （6）泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 第5条 津波による損傷の防止（入力津波）
- （7）ヒアリングにおけるコメント回答資料（ID：230928-18）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい、規制庁藤原です時間になったのでヒアリング始めます。泊発電所3号炉耐津波設計方針の入力津波とかの指摘事項回答とかあと評価条件。
0:00:12	これについて、事務所の方から、ヒアリングコメント回答リストに基づいて、順に説明をしていただいて、順次、日英質疑応答さしたいですなど。
0:00:22	残りの説明をしていただくようお願いします。それではお願いします。
0:00:27	北海道電力のよろしですそれではですね、ヒアリングコメント回答リスト、資料1-5の方でご説明させていただければと思います。
0:00:39	今回該当するところということで
0:00:43	かいつまんでご説明させていただきますけれども、まず、ナンバー57番、
0:00:50	お願いします。11ページですかね。
0:00:55	コメント内容としましては放水系からの津波の遡上に関する評価において、
0:01:02	放水欠設備の耐震性を踏まえたシナリオがどのような整理になっているのかと。
0:01:09	ということでございます。こちら回答概要としましては、耐震性を、放水施設は有していないということでございますので、基準地震動による液状化に伴って、
0:01:22	放水炉や、放水地の変形や不同沈下による段差及び部材の損傷等がまず想定されるということ。
0:01:31	考えてます。保守的なケースとして、
0:01:34	放水地方水路の沈下或いは全壊を想定した上で、管路解析を実施して、損傷状態の組み合わせを考慮した上で最も厳しい結果を入力津波とする方針とすると。
0:01:46	記載してございます。
0:01:49	こちらについては資料1-1の方でも、説明をしてございまして、
0:01:56	49ページ、
0:02:00	パワーポイントの49ページから、その中身について記載してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:05	49 ページは今お話しした内容と同じことが記載されていまして、ちょっと下の段で、放水施設の損傷を考慮した、
0:02:15	条件での管路解析の結果については、今後お示しすると。
0:02:20	ということで考えてございます。
0:02:24	50 ページ。
0:02:27	なんですけれども、地震時の被害想定として、先ほど概要を申し上げましたが損傷 1 から 4 の、
0:02:35	ところを想定しておりまして、
0:02:38	損傷位置は液状化に伴う放水施設の沈下には、液状化に伴う水平方向の変形。
0:02:47	3 は不同沈下による探査。
0:02:50	4 は、マップ材部材損傷というようなことで、整理してございます。
0:02:56	51 ページの通り、
0:02:59	損傷 2 と 3 につきましてははですね、損傷には水平方向の変形は生じにくいということで被害想定としては考慮しない。
0:03:10	村長さんについては、通水断面が減少する方向になるので、こちらもそこを考慮しないということで、1 と 4 だけを考慮するというような整理をしてございます。
0:03:23	52 ページから、放水施設の被害想定ということで、3 号放水施設の被害想定、
0:03:31	ではですね 52 ページの図の通り、考えてまして、
0:03:39	コースイチカワが液状化層でございますので、途中から岩盤部を經由して、
0:03:46	放水ピットに行くというようなルートですけれども、岩盤部の方は沈下が起こらず、放水違うだけ沈下が生じるということで、
0:03:59	閉、
0:04:01	液状化層と岩盤部の境界を規定にしてホースイチカワが 5 メートル沈下するというような想定を損傷位置で考慮すると。
0:04:10	損傷 4 については
0:04:13	損壊、
0:04:15	ていうところの損傷というのは局所的に起こるということは考えられるんですけれども、ここは保守的にもう放水値が全開するというようなことを想定して、
0:04:26	被害想定を設定してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:30	53 ページの 1 号及び 2 号炉放水施設に関しても 3 号炉と同様の考え方で、被害想定を考慮してございます。
0:04:40	54 ページから管路解析モデルを具体的に反映しましたモデル図をこちらに載せてございます。
0:04:52	損傷位置、沈下を考慮したモデルと損傷 4、放水自然界を考慮したモデル、それぞれ感度解析を実施して、
0:05:02	健全地形と比較して、影響確認すると。
0:05:07	まあさ、そうしたときに放水ピット側の水位が上昇したとか、そういうことであれば、それを要因として
0:05:18	考慮して、損傷 1 と 4 とともに、健全時と比べて水位が上昇したということであれば損傷 1 と 4 の組み合わせの影響確認を実施すると。
0:05:28	そういうステップで
0:05:30	評価を行いたいと考えてございます。
0:05:34	55 ページは 1 号 2 号炉放水施設ですけれどもこちらもサンゴと同じ考え方で評価をすると。
0:05:42	いう方針で進めていきたいと考えてございます。
0:05:46	というのがナンバー 57 となります。
0:05:53	いや規制庁シゲマス 92 番ですかね。
0:05:56	これも同じような内容ということですよ。
0:06:01	コメント No.、北海道電力の増資です。
0:06:06	22 番も 92%から 92 番ですか。
0:06:15	そうですね 92 番も同じ内容のコメントと認識してございます。
0:06:22	はい。江藤。じゃあ、92 番と今の 57 番についての質疑に入りたいと思いますパウポの今の説明あった箇所なんですけども、
0:06:30	ちょっとお聞きしたいのがですね、パウポの 54 ページで、いろいろナカマまず要因網羅した上で、何かあったら組み合わせも考慮しますよっていうのは、確か平面二次元解析の
0:06:44	フローに近い。
0:06:46	ような、
0:06:47	気もしました。
0:06:48	言いたいのは要は、結局だから平面人解析と同じような考え方、もしくはフローに基づくんであれば、そういった考え方って何かこう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:00	市民なんかもちよっとせ整理はできないのかなってちよっと思っただんですけど。
0:07:06	北海道電力の吉井です。
0:07:09	ご指摘いただきました通り基本的には平面二次元も、個別の地形変化を考慮してそれを組み合わせて評価するという考えで整理してございまして、
0:07:22	こちらも今2ケースだけの想定ですけれども、
0:07:26	同じように、個別の損傷を考慮して組み合わせを評価すると。
0:07:32	ということで記載してございますので、ちよっと整理の仕方とあるはあるかと思えますけれども、ちよっと平面2次元と同じようなたてつけで、
0:07:42	ちよっと記載を見直していきたいと考えてございます。以上です。はい。規制庁します。わかりました。一応、私がこの資料を見る時にやっぱり平面二次元と感度解析も同じ結局入力津波の
0:07:56	設定ということですので同じような考え方に基づいているのかわかるのはやっぱり確認のポイントかと思うのでそこについては、もう一度検討いただければと思います。
0:08:06	続きましてこの54ページのところでちよっとこれ、細かい話なんですけども、損傷位置金貨を考慮した管路解析モデルの真ん中のこの図で、
0:08:16	赤い丸で囲ってある左の通常健全地形のやつと違う、この20だけ赤丸だ、20のところに設定が追加された赤丸になってるこれ。
0:08:27	まとめ資料を見ても何かこの接点虹をつけたことになぜこれが沈下を考慮っていうことになるのかがちよっとよくわからなくてですね。
0:08:37	この事実をちよっと説明いただけたらと思ったんですけど。
0:08:42	北海道電力の吉井です。
0:08:47	とですね、ちよっとまとめ資料の、
0:08:52	719ページをご覧くださいませでしょうか。
0:09:05	そうですね。
0:09:06	719ページの、
0:09:09	図5にホース位置の断面図がございます。
0:09:14	郊外がわーと構内側で、益子壁が当たっていて、TP11メーターの真壁が建っているんですけども、
0:09:25	基本的に健全地形の場合はこの11メーターを越流して

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:32	松波が流入場、或いは流出するっていうことはなかったんですけども、5メートル沈下を考慮して、ここがTP6メーターになると。
0:09:43	郊外から構内に津波が流入または流出するというのが、
0:09:50	起きてございます。
0:09:51	感度解析モデル図においてですね、健全地形の場合は、
0:09:58	TP11メーターを超えて、構外から構内に入る流入経路というので接点を設けていなかったんですけども、
0:10:08	沈下を考慮するとその流入経路が生じたので、この20番の接点を設けて、ここから津波が流入するというようなモデルに変更したと。
0:10:20	ような次第でございます。ちょっとこちらについてまとめ資料等で明記していなかったなのでその旨補足したいと思います。以上です。
0:10:29	はい、規制庁藤原です。その追記の旨はそれでいいんですか。ちょっとす。
0:10:35	数はですね2点ほどちょっと聞きたい事あってまず、これじゃ、何だろう、接点中っていうのはこれは何か意味があるんでしたっけ。
0:10:44	中に20度対対になるような荷重というのが設定されて、
0:10:51	北海道電力の吉井です。
0:10:55	すいませんちょっとこちら、今すぐ確認は、
0:10:59	できてないんですけど右側のTP6メーターの構内側から放水路に入る経路。
0:11:08	ちゅ接点中で示していると。
0:11:16	はい。いうことで次を設けているということでございます。はい。規制庁藤原です。その辺もちょっと、まず書くとともにですね。
0:11:25	ちょっと御説明わかんなかったのが今TPP11を超えることがないからそもそも接点が、何だろう、健全地形じゃ設けなかったって、これは実際に様々な基準、
0:11:37	津波の波源が、
0:11:39	るーじゃないですかです。それを、
0:11:43	すべてにおいて11を超えなかったから、設定を設けなかったということですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:50	北海道電力の吉井です。ご認識の通りです。
0:11:56	規制庁長です。わかりました。ちょっと一応その旨は何て言うかの設定の考え方っていうのは、ちょっと何か今聞いて初めてわかった古藤でちょっとそこは、
0:12:06	きちっとモデルの考え方としては変えた方がいいのかなと思うんでその辺はちょっときちっと書いていただけようお願いします。よろしいですか。
0:12:15	北海道電力の遠藤主査、承知いたしました。接点の考え方をもう少し補足したいと思います。以上です。
0:12:51	江崎ですけど、いわゆる放水軽四と放水計算。
0:12:56	とかですねこの辺は図
0:12:59	5の、
0:13:00	コース1のどこに該当するか。
0:13:04	ていうのが、もう少しわかりやすく、
0:13:06	うん。
0:13:08	できませんかね。
0:13:12	例えばそのTP11メーターのタナベと呉んとか、右のTP。
0:13:16	E+6メーターとかと。
0:13:19	それでね放水コウがどこに該当しているのか。
0:13:29	北海道電力の吉井です。
0:13:33	まとめ資料、資料1-2の714ページ。
0:13:38	ご覧ください。
0:13:45	ちょっとこちらの放水施設断面図の中に記載してございます。
0:14:28	74ページかとか、75ページ書いているだけだと佐瀬接点の流入口とかそういった、
0:14:35	考え方がちょっとわからないので全体的にそういう、
0:14:38	流出流入の接点があるんであれば、そのそのセップの流入流出の設定の意味合いがちょっとわかるように、
0:14:47	書いていただけますか。
0:14:50	北海道電力の吉井ですご指摘承知いたしました。こちらの接点の情報はちょっと記載してございませんのでそちらを補足するようにいたします。以上です。
0:15:10	規制庁熊谷です。
0:15:12	ちょっと、
0:15:15	このモデルの話とはまたちょっと違うんですが想定のところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:18	今回3号放水炉については
0:15:26	ホース1の方を全開させるっていう形で、
0:15:29	想定されてるのを打ち消す投資的なケースとしてされるってあるんですけども、
0:15:36	はい。
0:15:38	他にどんな、
0:15:40	想定があるのかなというふうに思ってます。
0:15:43	例えばその、
0:15:45	3号の放水施設については
0:15:49	放水路トンネルについては、
0:15:52	浅層と、のところと岩盤部のところと、
0:15:55	後境界部があったりとかしてですねそういったところで、
0:15:58	一部損壊したりとか、破断したりとかっていうことも、
0:16:02	考え、可能性としてはあるのかなあと思ってるんですけども。
0:16:07	そういったものも含めてこれが、
0:16:09	ほう素1の前回が一番保守的なケースとして、
0:16:13	求められてるんでしょうか。そこら辺の、
0:16:15	考え方どうされてるのかっていうのをご説明いただければと思う。
0:16:20	北海道電力のよろしです。
0:16:23	魔法水路トンネルのところも、厳密に言えば、ス損傷するということは考えられるんですけども、
0:16:33	放水のトンネル部につきましてはもう、基本的には地盤の中に埋まっている状態で、完全に全壊して焼失するということは考えにくく、
0:16:45	あと損壊したとしても、その地盤から津波が流入するとか、そういったところは微量あり得ると思うんですけども、
0:16:56	考えにくいので、基本的にはハウスイ千野前回というところ。
0:17:01	考慮しておけば問題ないと思えます、今のようなモデルで想定してございます。以上です。
0:17:11	規制庁熊谷です。
0:17:12	B級岩盤と砂れき層と結構、
0:17:18	まっすぐの線が引かれるような形で境界部が示されていて、
0:17:22	そこについては多少やっぱり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:24	動き方も変わってくるんじゃないかなあと思ったりするんですけども。
0:17:29	あと、ちなみにこの、
0:17:31	ホース1全開ってというのは、
0:17:35	具体的にどんな形で、
0:17:41	イメージされてるのかっていうのがちょっと今、一つよく安保ホース1が全部、
0:17:47	ないものとして、
0:17:49	水路トンネルだけが何かぽつんと残ってるようなイメージなんでしょうか。どういう。
0:17:55	イメージになってるのかっていうのを教えていただければ。
0:17:57	北海道電力の吉井です。おっしゃる通りホース1が本当に全部壊れて、
0:18:05	もう消失したというちょっと極端なケースを想定したような、
0:18:11	想定としてございますので、法水路トンネルの入口から、津波が流入するとそういった想定をしております。以上です。
0:18:22	規制庁熊谷です。
0:18:24	そういう意味ではforセイノトンネルの入口のところはもう、
0:18:28	二つにされてもそこだけ。そっ間が空いててそっから、
0:18:33	波が入ってくる津波が入ってくるようなイメージ。
0:18:37	いいですか。
0:18:43	方スイッチが全部、
0:18:45	なくなって、
0:18:47	そうするとその入口のところは何か一部放水位置が、
0:18:50	何か多少、
0:18:52	タテコウとかは残ってるイメージですか、そこら辺もなくなるんですか。
0:18:56	本エザキですけど、駒井君さ。
0:18:59	基本的に、これって別にこれがSクラスのもので、
0:19:04	この耐震性を要するものではないから、
0:19:07	いわゆる今、この放水のトンネルを介してどれだけ津波の量が多く入る。
0:19:12	状況が考えられる。
0:19:15	状況、状況になり得るかという。
0:19:18	ことで考えたときに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:20	例えばこの多分放水位置が、
0:19:23	719 ページの図 5 って言ったら、
0:19:26	それぞれ左側にある呉、金戸ほう素茅根、右側からがそれぞれ左右両方向に開くってあまり考えにくいけど、検討してしまうところ転げちゃうと。
0:19:38	地震の場合で言ったらその転げちゃうか横ずれちゃうだけの話だと思ってるので、
0:19:42	そうした状況が起きて、それは基本的に、
0:19:45	横ずれしちゃうんだけど、基本的には、それはもうないものとして、いわゆる放水管トンネルで大量の水が入っていく、そういう過程が一番リスクが高いので、そういったものに関して多分、
0:19:58	検討してるっていうのは理解はしているんだけどそれはちょっと説明できてないのかなと。
0:20:02	どういう崩壊するかってのは
0:20:05	逆に言うとどうでもよくて、
0:20:07	どうでもいいってことは言えないんだけど多分ここに関しては別に耐震性を期しなきゃいけない代物ではないので、
0:20:14	逆にこれが、
0:20:16	ホース 1 の内部の池側に倒れて転倒しちゃうと。
0:20:21	水流の部分の口が、いわゆる水が入りにくくなる方向になるんで、
0:20:27	逆に開く方向に、
0:20:29	してしまっ、それはもう全然ないものとして、
0:20:32	考えた方が水の量が入りやすいと。
0:20:35	水の抵抗を受けにくいような状態にはしないで
0:20:40	限りなく水が、津波が流入しやすい状況を考えているという、
0:20:45	ことかなと思ってるんですけど。
0:20:47	それで間違いないですか。
0:20:50	北海道電力の吉江さ、ご認識の通りで実際ホース 1 ガードのような、転倒の仕方、損壊の仕方っていうのはちょっと、
0:21:00	いろんなケースが想定されると思うんですけども、最も放水のトンネルに水が流入しやすいケースとして、ホース 1 がなくなったという仮定を想定してございます。以上です。
0:21:18	北海道電力の依田審査、資料 1-1 の 50 ページにちょっとその旨を記載してございまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:26	損傷4のところ、港湾側のケーソンが転倒するとか、北防波堤護岸の
0:21:36	ケーソンが転倒するとかそういったいろんなケースがあるとは思いますが、
0:21:42	もう全部なくなるというところを仮定すると、放水のトンネル、
0:21:48	への流入量が大きくなるという最も大きくなるという仮定で、放水値が全くなかったというようなモデルを想定しました。
0:21:59	以上です。
0:22:01	規制庁熊谷です。はい、ありがとうございますちなみに
0:22:04	私の趣旨としてはですねちょっとまだきちんと説明できてなかったんですが、
0:22:10	やはり、
0:22:11	誘うと。
0:22:13	D級岩盤のところの境界部ですね。
0:22:15	もし開口部ができるとすると、そこから
0:22:19	水路トンネルに流入してくるんじゃないかと。
0:22:22	いう。
0:22:24	可能性もあるんじゃないかなと思ってまして。
0:22:26	その場合よりも、
0:22:28	その放水地のところから流入した方が保守的なというような考え方であれば、それはそれでいいのかなと思ったんですけど、その流入する。
0:22:38	場所の、
0:22:40	保守性とかっていうそういったところを、
0:22:43	あるのかなと思ったんでそこら辺は、
0:22:46	どうなのかなという趣旨で聞いております。
0:23:07	例えば52ページのところで言うと、その被害想定
0:23:11	一番右側のところから来てるのか、左側で切れるのかで入る場所によって、
0:23:17	ちょっと、
0:23:18	被害の
0:23:20	大きさも変わってくるのかなと思ったんですが、そこは、
0:23:24	どこが一番保守的なのかっていうのを教えていただければと思った次第です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:30	北海道電力の吉江です。ご指摘の通り粗放水路トンネル内の例えば岩盤とその液状化層である砂層とかの境界部、
0:23:43	そこでの
0:23:46	損傷や鎮火っていうのは、想定は考えられるんですけども、
0:23:51	損傷山のように、基本的には開口部が狭くなる方向になると考えますし、また周辺はもう地盤で追われているので、
0:24:02	周りからの津波の流入っていうのは、大量の水が流入するというのは考えにくいと。
0:24:09	考慮してますので、基本的には、放水地のみが全壊するでなくなったモデルを想定するのが、保守的だと考えてございます。以上です。
0:24:24	はい。規制庁熊谷です。
0:24:25	基本的には、
0:24:27	やはり地盤に覆われているのでそこについては、
0:24:33	もう前回それをさ、
0:24:35	それは、
0:24:37	可能性は小さいだろうというようなご説明ということで、
0:24:40	理解しました。
0:24:42	この辺もう少し説明して、例えば、
0:24:46	応力集中なんで、割と、
0:24:48	ひび割れはタテわれですよ。
0:24:52	イワイは、
0:24:54	本トンネル全体での、
0:24:57	曲げ的な変形が起きて、ちょっと縦割りになって例えば、宗田っていう干草イベントなんでセグメントの一部、多分系セグメントが上の方にあるんで、そこが、
0:25:07	剥落してそこから同斜とあれが流入すると想定したら、逆に言うと、
0:25:13	土砂が流入することによって閉塞されちゃうんで、
0:25:16	津波が逆に入りにくくなっちゃうんていう話とかそういうふうになんかストーリー立てて、通常の事故で考えたときにどうするか、或いは水が流れたとしても、大量に土砂が入ってしまえば、
0:25:27	水の流れよりも、基本的にはね。
0:25:30	綺麗な水のぐらいの水の流れぐらいじゃ、当社の
0:25:35	流入とその、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:38	何だろう。うん。
0:25:40	内部に入る。
0:25:42	田井セキは止められないはずなんで、
0:25:46	そういった、
0:25:47	ストーリーを立てるかですよね。
0:25:49	それで、
0:25:51	磯阿南からは、経営セグメントが絶対機能。
0:25:55	普通は、ジャグ、もともと弱部になってるんで、そこから出たときに、経営責任を取って結局開けセグメントがないんだっけ。
0:26:04	そちらは経営セグメント、逆に言うとさテーパ的にさ、
0:26:07	うん。差し込む法になってるからそうするからね。だから抜けやすいんだけどさ。
0:26:12	そこからしたときの欠席にあたって、ある程度大きさが決まってくるので、
0:26:17	そこから考えたときの土石の量、
0:26:20	からしてさ、全部抜けるのかなっていうんだけどさ、ユニットバスの関係からして、
0:26:29	もともと囊胞水路とかあるって、
0:26:32	あまり地表面まではあまり影響ないと確かに敷地の方が高いからね。だけどそのユリ動圧から考え、
0:26:39	緩む範囲の領域ってあるよね。昔の言いながらで、最近あまりないかもしれないけど、
0:26:44	昔はトンネル呉標準示方書とか、緩み領域とか、ユリ動圧とか計算する話があったと思うんですけど、そちらもそれに類似した話はしてますよね。以前
0:26:56	包丁て下のところの通過のところ、緩み領域とか、それ考えたときに、
0:27:03	そその範囲で貫通しなければまたあれだと思うんで、
0:27:07	その辺の話をちゃんと
0:27:10	説明したらいかがでしょうか。
0:27:14	北海道電力の吉田です。魔法水路トンネルの損傷を考慮するし、
0:27:21	して、した場合に土砂が流入するなどそういったところのストーリーを検討して、もう少し保守性について記載を充実化を図りたいと思います。以上です。
0:27:36	麻生イマイってのはもう一度ね、今の答えで結構なんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:42	構造弱部。
0:27:43	とかその構造弱部のその損傷領域から見たその実際に、海底面まで水口ができるのかどうか。
0:27:53	地盤のそのトンネルを、
0:27:56	その町領域も含めた上での
0:27:59	緩み等はそういうふうに来はりも含めて、嘘。
0:28:03	事象想定をされ、されたらいいさしてくださいってということね。
0:28:14	北海道電力の吉江です。承知しました。構造弱部に着目して、そういった評価を、評価といいますか記載を充実化を図りたいと思います。以上です。
0:28:28	規制庁熊谷です。あと、続けてちょっと記載のところでもあるんですが、
0:28:33	資料1-2の793ページの方見ていただければと思いますけども、
0:28:39	793ページでは、1号及び2号炉の放水施設の被害想定に記載ぶりとかですね。
0:28:46	被害想定が記載されてるんですけども、
0:28:52	参考表1-3の、
0:28:55	1号推進施設の被害想定のところでは、
0:28:59	一番右下のところの二目のポツのところではですね。
0:29:03	コーセルは地盤に埋設されていることから、
0:29:07	流入しないというふうにされてるんです。12号って、
0:29:12	必ずしも地盤に埋設されてるとは、
0:29:15	言えないのかなとちょっと792ページ見るとですね、埋設。
0:29:19	その上に埋め戻しの上に、
0:29:22	車すら設置されてるようにも見えるんですけど、
0:29:25	ここは、
0:29:26	どういう趣旨なんでしょうか。
0:29:30	あんまり正確ではないのであれば正確にしていただければと思うんですが、いかがでしょうか。
0:29:35	北海道電力の吉井です。今ご指摘いただいているのは、放水地周辺の放水ROV呉のところが埋設されていないのではないかというところだと思うんですけども、
0:29:50	ちょっとこれ断面図なんですけど基本的には、
0:29:54	側面と底面は地盤に埋設されていて、ちょっと上部、
0:30:00	のみは確かに埋設されていないというところにはなりませんので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:05	ちょっとそういったことも踏まえ
0:30:08	ちょっとこの辺りの
0:30:09	検討をもう一度語りたいと思います以上です。
0:30:15	はい。規制庁熊谷です。はい。
0:30:19	より正確な記載をお願いいたします。
0:30:21	以上でございます。
0:30:37	規制庁のオオハシです。
0:30:39	資料1-1の50ページ。
0:30:43	50ページの放水施設の構造の話なんです、
0:30:48	左側の
0:30:50	最初のポチの4行目に、
0:30:53	構造が追従性にすぐれたフレキシブルな構造ってことが書いてあって、
0:31:00	これ具体的にどういうことなのかなと思ひまして、例えば、
0:31:05	トンネルと立坑の接合部2カトウ、
0:31:10	継ぎ手が入ってるとか、
0:31:13	この右側の村長さんの戸田と、
0:31:16	タテコウは変形してないけど、放水路トンネルだけ沈下しても、
0:31:21	何か大丈夫みたいなことが、
0:31:23	示されているんですが、
0:31:26	具体的にどういうことをうれしくBlueな構造で、
0:31:30	耐震的に無理だということ言ってるんでしょうか。
0:31:37	北海道電力の要旨です。
0:31:42	ご指摘の通り、トンネル次、接続部とカーの
0:31:49	次、カトウついてとかを使ったりしてフレキシブルな構造、
0:31:54	追従性にすぐれたような構造になっているということでございますけれども、すいませんちょっと明確な根拠ってところが示せていないので、
0:32:08	はい。
0:32:53	北海道電力の井戸先生申し訳ございません。すいませんちょっと事実関係を確認して、この辺りもう一度説明できるようにしたいと思います。
0:33:19	止めて、
0:33:26	北海道電力の高橋です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:30	今いただいたやつはちょっと確認をさせていただいてこのヒアリング呉中に回答できるようにしたいと思います。
0:33:40	お願いします以上です。
0:33:55	じゃあ、規制庁実はハウスイ系の方のコメントNo. 57は、まあまあ、後日回答もありますが上のほうのイワマ良いとして、あと5中なんだな。
0:34:07	92番か、これも上の方は良で、後日回答の方は今後説明ください。その次衛藤説明を続けてください。地すべり系ですかね。
0:34:27	89人。
0:34:33	北海道電力の吉井ですそれではですね、コメントNo.68。
0:34:38	についてご説明させていただきます地すべり地形3については、崩壊範囲を図に示して、現状の崩壊範囲とするのであれば岩盤等の地質状況を示した上で岩盤が崩壊しないことを示し説明することと、
0:34:54	いうことをございますけれども、岩盤部については簡便法による滑り安全性、安定性評価を実施し、最小滑り安全率は十分に大きい結果となったと。
0:35:06	ための岩盤部は崩壊しないというところをご説明してございます。
0:35:15	まとめ資料の方。
0:35:17	で、
0:35:23	まず690ページに地すべり範囲ということで参考図11のようにお示ししてございますけれども、
0:35:36	こちらは以前から変更なく崩壊を想定した範囲としまして堆積物の範囲としてございます。その下に岩盤部が、
0:35:48	あるという状況ですけれども、それが691ページ。
0:35:54	参考図11-7のように堆積物の下部に岩盤、B級岩盤の層があるというような状況でございます。
0:36:06	こちらについて
0:36:09	滑り安定性評価をしているというところでございますけれども、
0:36:14	ちょっとB級等してますけれども一部現地踏査とかでC級岩盤が確認されているところがあると。
0:36:25	ということですので、ちょっと保守的に全部C級岩盤として解析をすると。
0:36:30	いうことでそれが参考図中、11-8に示してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:37	692 ページの 4 章の方で具体的にもう滑り安定性評価を実施してご ざいまして、
0:36:44	地すべり地形、3、ちょっと 2、2 の評価もあわせて載せておりま すけれども、3 につきましては、滑り安全率が 3.100 ということ で、
0:36:58	3 以上アリマ十分に大きい値と、
0:37:01	いうことになってございますので岩盤は、プールは崩壊しないとい うことで評価してございます。以上です。
0:37:11	藤宇井伊井ですか。今の規制庁フジワラです
0:37:15	何だろう。
0:37:16	なんて言ったらこれ本気で言ってますか。
0:37:22	こういった場合ね。
0:37:24	どう変えてやってくださいって話になっちゃうんで、そこまで言 うのであれば、ここで何が足りないかっていうと、単純に 693 の、
0:37:32	参考図の 11-9 のアクセスルート周辺斜面及び敷地、亀井主務、 敷地下斜面、この増加をやればいいんだ。
0:37:44	これって、S クラス。
0:37:46	背後の S クラス施設の背後の
0:37:49	斜面と硬くすると一緒のはずなんで、どちらかでどっかやらなき ゃいけないはず。
0:37:54	その動解をして、
0:37:57	性的なもので、すぐ住めないではなくて、
0:38:01	そんなことはどこの部署でもやっていないし、これから
0:38:05	そんなことを
0:38:08	斜面の選定、
0:38:10	どこが滑りやすいかという選定ぐらいの仕様にしかになってない。
0:38:15	それしか使っていないと他社も多分、
0:38:18	御社はこれから今やっている、もう、ある程度やっている。あれ も同じような話になってるはず。
0:38:25	デスク薄く、S クラス施設の
0:38:29	背後斜面の
0:38:32	いわゆる代表的な斜面の選定、
0:38:36	ていうのが、優劣つけない場合はこういうような、
0:38:39	性的検討をして進む。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:42	滑りやすい。
0:38:43	社名を館か言い方によって選定した上で、を進めるか進めないか、S sを入力してみて、
0:38:52	判断してるはず。
0:38:55	3C iとS S一緒ですか。一緒だよ。だから、こんな論理は展開はできなくて、
0:39:04	感じるころの簡便法でやった、この三つ見比べた上で、地すべり地形の②と③は、
0:39:13	アクセスルートの周辺斜面に比べると滑りにくいと。
0:39:17	しかも、アクセスルートの周辺斜面にS sをぶち込んでも、木本は滑らないので、
0:39:24	ねえ、ここでも滑らないんだから、
0:39:26	ユリ滑りにくいところはもっと滑らないでしょうと、そういう話だよ。
0:39:31	うんでそういう話になってないじゃん。
0:39:33	だから3C iですべて知らないなんてそんな話は、
0:39:37	S sの話をしてるわけだからなくて、それと、ここは、
0:39:42	あくまでも、詳細設計にはいけないですかね。この許可の段階で、入力津波の設定の話だから、
0:39:51	我々の基準要求的には、この許可の中で、
0:39:56	妥当性まで、
0:39:59	確認した上で、
0:40:01	フィックスするという設定ですからね、フィックスするという状態になりますんで、これは詳細設計に持ち越しはできないんで、それはちょっと勘違いしないでいただきたいと思いますがよろしいですか。
0:40:26	北海道電力のよろしです。ご指摘の、
0:40:31	いただきます。
0:40:34	ご指摘いただきました件を踏まえたちょっと検討、記載の検討をしたいと思うんですけども、
0:40:41	ちょっとアクセスルートで選ばれた代表断面の最小滑り安全率が1.53で、そちらの方が小さく、
0:40:50	そちらを代表に、S s地震での評価をすとか、そういったことも含めて、ちょっと記載を検討したいと思います。規制庁矢崎です。もう一度ですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:02	他の
0:41:03	ところで今回の許可を審査してるところ、例えばアクセスルートでの斜面の選定の仕方はそうなってるはずですよ。
0:41:12	複数候補がある中で、性的な斜面、性的な滑り方で、一番最も厳しいところを選んだ上でそこをどう会で検討する。
0:41:23	同じように、Sクラス施設の背後斜面の安定斜面安定、これもシマでもどこ見てもね、同じロジック、今私が言ったようなロジックになったやつですよ。
0:41:36	自分で考えるんじゃなくて、コウ斜面安定は、
0:41:39	他のを泊の中でどういような扱いをされて、検討されているか、それを踏まえた上で、しないと。
0:41:47	この前、先週話があった施設の設備と、
0:41:52	同じ流路縮小工で実験とかまたその解析する。
0:41:56	その大評価法がバラバラで考え方がバラバラだったってそれはみんなそうなんだよねだから個人個人で考えるんじゃなくて、社として統一した見解を持ってやっていかないと。
0:42:05	要は、もういわゆるコントロールできてるののかって話になっちゃいますよ。うん。
0:42:10	その辺はよく考えて整合だとかしていかないと。
0:42:13	片方で違うことやったら、じゃあハザードカーも変えるんですかって話ですよ。
0:42:18	そんなことありえないでしょ。
0:42:21	それをよく考えて、検討してください。
0:42:28	はい。北海道電力の高橋です。今のご指摘いただいた通り、今回簡易な簡便法ということで、確かに他のハザードが含まれてやり方動解とか使って説明してるっていうところは、あるんで、
0:42:44	はい。そうすると、
0:42:47	はい。
0:42:49	そういったところ含めてですね、きちんと整合させた状態で説明できるように、
0:42:55	見直していきたいと思います。
0:43:25	はい、江藤規制庁フジワラスズエと。
0:43:28	今回エザキも行ったんですけど私もこれがタケヤアノレベルを疑いました。担保作成した方なんです。
0:43:37	で、まずきちっと簡便法で何D、Eのかというそもそも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:42	何だろう。高橋さんとか見て何で簡便法があっていいのって、普通疑問に思いますよね。だからそういうところをまず見ていただくとともに、所上から、
0:43:52	ですね施行資料作成の話ですよ。
0:43:55	ですかツアー等、アクセスルートの話を持ってきてるんだったら、じゃあその北電のアクセスルートの担当にこの資料を見てもらって間違いはないかとかいうプロセスを踏めば、間違わないじゃないですか。
0:44:07	そう言った何ていうかね資料作成における、品質的なところがちょっとあんまり、今回は非常によろしくないように決まっていますんで、今後内田のこの点についてはきちっとやっていただくようお願いいたします。よろしいですか。
0:44:21	はい。北海道電力の高橋です。ご指摘いただいた通りアクセスルート等を持ってきてますんで確かにアクセスルート側に確認し、敷いていただくとかそういう、
0:44:32	プロセス含めてですね、しっかりやっていきたいと思えます。
0:44:45	はい。江藤。規制庁藤原です。そしたらナンバー688097は継続にしたいと思えます。
0:44:52	今のフレキシブルの話はずっと、
0:44:55	できるのであれば説明ください。
0:44:59	北海道電力の佐藤ですすみません先ほど大橋さんの方からご質問がございました。1-1の資料の50ページ。
0:45:09	もう、降水施設。
0:45:12	が追従に性にすぐれた
0:45:14	フレキシブルな構造という点に関しまして回答させていただきます。
0:45:21	えーとですね、こちらは4条の地下水排水設備の方で、まとめ資料としてお出しをしているものに、持田の説明させていただきたいんですけども、
0:45:32	ホウスイ須藤はですね、施工時に、セグメント六つで構成させる。
0:45:39	1.2メートルのリングを縦断方向に連結した形で、構成セグメントとして、
0:45:46	施工しているものです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:48	で、放水今ですね放水炉とホース1タテコウのアノ接続部においてはですね。
0:45:57	地震時の相対的な共同ですね、伸び縮みだとか、せん断変位に対して、止水ゴムによってカトウ性を持たせたアノカトウセグメントを、
0:46:08	用いて、施工しております。
0:46:12	そのためですね、耐震性は有しては、
0:46:16	いないんですけども、そういう配慮をした上で、設計をして、実際に設置をしている施設ということになっております。こちらですね、
0:46:27	四条側ですね、点、
0:46:29	別紙11-添付7の資料の方にですね、放水炉の記載、今ご説明した記載については、実施しております。
0:46:41	私からの説明以上です。
0:46:48	規制庁大橋です。
0:46:50	四条の方できちんと説明しているということで、承知しました。以上です。
0:46:59	はい、じゃあ他なければじゃ、続けてジャストポイントの回答の方の説明してください。
0:47:09	北海道電力の吉井です続きましてコメントNo.69についてご説明させていただきます。
0:47:18	補機放水が連続で流れている状況での、津波の遡上状態について解析結果を踏まえて説明することと、
0:47:26	ということがございますけれども、定常時では放水炉内の流向は、放水ピット、放水ピットから放水遅延の流れでありその後、津波の来襲によりホース設置水位が上昇すると。
0:47:40	ピットからホース1方向の流量が徐々に低下して、ホースHSEがピットの水位を上回ると、放水炉内の流向は放水地下保水ピット。
0:47:52	への流れとになるということを解析結果を踏まえて説明してございます。資料1-7。
0:48:01	の指摘事項回答のペーパー
0:48:06	でそちらを記載してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:10	ちょっと流況についてということで先ほどご説明した話があるんですけども、2 ページ目の 3 章のところにその解析結果に基づく流況を確認をしていると。
0:48:25	いった状況でございます。
0:48:29	等放水炉の入口流量について流量セイノ場合の流行は、放水ピットから放水地を表して、流量分の場合は放水力放水ピットを表すと、
0:48:42	ということなんですけれどもこちらの図に示す通り、
0:48:47	津波が遡上していない 800 秒付近まではほぼ定常状態。
0:48:51	放水位置の水は、放水ピットの水位よりも低く、
0:48:56	流向は放水ピットか放水地であると。その後津波の来襲によって、850 秒付近以降ではホース一井の水は、
0:49:07	ピットの水位よりも高くなるため、放水炉内の流向はホース 1 から放水ピットになるということが解析結果からも確認できたと。
0:49:17	ということでお示ししてございます。以上です。
0:49:25	ナカセスわかりましたこれって。
0:49:28	解析結果って書いてあるんすけど。
0:49:30	どういう解析をやってどういう条件で流したって、わかんないんですよね、結果だけ OK って書いてあるんで、解析、どういう解析の前提条件とどういう解析をやったかっていうのを、
0:49:44	ちゃんと教えてください。よろしいですか。
0:49:49	北海道電力の吉江さん種承知いたしました。一応
0:49:56	添付資料 5、資料 1-2 の
0:50:02	707 ページ。
0:50:10	と 708 ページのところにその解析条件、
0:50:15	等の記載をしてございますけれども、
0:50:19	ちょっとこの、この結果を、この中で複数のケースも記載してますので、
0:50:26	確認をしたケースっていうのが、どんなケースであるかっていうのをもう少し具体的にこちらのペーパーでも載せるようにいたします。以上です。わかりました。これはだから、
0:50:36	1 次元で電力どぼくうの
0:50:40	損失係数を使ってというパターンで、これに合うような解析条件をやったということですね。わかりました。例えばそれでいいんで、ちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:50	せっかくなんでコメント回答資料にそれも加えてくれれば、おしまいにしたいと思います。以上です。
0:50:58	北海道電力の吉江です承知いたしました。解析条件についてこのコメント回答資料でも、追加したいと思います以上です。
0:51:11	その解析方法と条件について追記したいと思います。以上です。
0:51:21	規制庁井澤ですこの 69 番について驚見とした上で今後資料は提出してください。その次、イトウ説明してください。
0:51:34	コメントNo.71 番ですけれども、敷地内のセンクツについてですけれども、8 メーター／s e c を超える場合にコンクリート舗装であれば、専決しないと。
0:51:46	する理由を説明することということでございますけれども、コンクリートのせん断強度とアスファルト混合物のせん断強度を比較して、コンクリートのセンクツに耐える、流速を推定すると。
0:51:59	3 倍程度の流速に対してコンクリートが健全になると。
0:52:03	いうことですので、コンクリート舗装であれば、先決しないということで回答してございます。
0:52:09	チラー、えっと、
0:52:12	まとめ資料の方でも
0:52:16	記載してございまして、
0:52:23	すいません資料 1-2 の 657 ページ 658 ページの方で、アノオチアイについてまとめてございます。以上です。
0:52:34	はい。規制庁藤原です。
0:52:41	もうちょっと何かロジックが欲しいところであってちょっと前回言ったのは、コンクリートの舗装厚さがちょっと書いてくれて言ったので 658 ページ 50 センチが、
0:52:52	舗装厚書くっていうのはわかりました。
0:52:55	アスファルトの表示舗装標準教室で小村ツツミってこれって、
0:53:00	どれくらいになったかなっていうのはちょっとわかんなくてですね。
0:53:05	うちは何か集めて何かありましたっけ。
0:53:12	それと細尾っていうのは、規制庁ジュリスト 657 ページの両括弧 1 の下から 3 行目。
0:53:20	アスファルト舗装標準供試体においてとか結局だからアスファルトとコンクリートを比較して流速との関係でやってるということであれば

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:31	そこの何だろうな。
0:53:33	要は、ないと思うんですけどそれで標準供試体がものすごく暑かったらとか、いうことはないですよねってただそれだけの確認のための、
0:53:41	あの後ものです。
0:53:43	はい。北海道電力の高石です。こちら流した際ですねアスファルトの強主体につきましては、少なくとも50センチよりはですね、すぐ対厚さになっておまして、
0:53:55	確かにな、70、70ミリとか150ミリだったとか、20センチ未満ぐらいのアスファルト舗装だったというふうに、
0:54:07	確認しております。以上です。
0:54:09	規制庁設楽です。そこをちょっと記載をいただけるようお願いいたします。
0:54:14	はい。北海道電力の高石です記載を見直したいと考えております以上です。
0:54:20	長ナカセさん今あれ津波に対しては、その厚さとコンクリートとか厚さと何とかせん断力の話はわかったんですけど、
0:54:30	泊考えますと、泊って、
0:54:33	基本的には地震が起こりますよね津波前に行って地震が起こったとき、例えばS _s が起こると、
0:54:40	埋め戻しによる敷地地盤って、
0:54:44	層厚の違いによるんですけど大体平均で3.5メートル。
0:54:50	沈下するっていうですね、最大5メートル沈下するんです。
0:54:53	なおかつですね。
0:54:55	敷地地盤は液状化層の違いとか構造物の影響の有無によって当然不同沈下しますと。
0:55:03	そんな、
0:55:04	椅子A50数、50センチのコンクリート保証やってもう5メートルも沈下するすれば、当然壊れてる時がありますよね。
0:55:13	そのあとに津波来た状態でもう1009須賀大丈夫かって言われると違うんじゃないかと、それに対して、それが悪いっていうんじゃないかとそれに対してちゃんと対応しててもう持つ見たような話を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:27	もう加えないとまずいのかなと思ったんです。能登の地震見ても、地震だと壊れて津波来てよりめくり上がってる放送も見たと思うんですけど。
0:55:37	津波も、泊もそういう可能性もあるんで、そこら辺も、ほぼ何かフォローしてもらえばなと思ってるんですけどいかがでしょうか。
0:55:50	はい。北海道電力の高石です。須藤。
0:55:54	地震の後に津波が来た際にですね、
0:55:59	コンクリートに損傷が生じた場合、どのような影響があるかとか影響がないかとかそういうのも含めまして、
0:56:09	検討して記載を、
0:56:12	追求したいと考えております以上です。
0:56:15	当然壊れても、ちゃんと対応できるんだと、いうところまで、S Aで対応。
0:56:21	考えてるかもしれないんで、そこまで踏まえた体制ができてますっていうんだったらこの流れでいいのかなと思ったんですけど。
0:56:30	いや、
0:56:31	そういう質問に対してちゃんと答えられるようにしてねっていうのが私の希望なんですけど、いかがですか。
0:57:29	事業者で確認中です。
0:59:43	A規制庁今、中房です。今
0:59:47	江崎伊井とか藤原が言ったようにですね全体のストーリーの中の位置付けを明確にして、
0:59:53	特に、津波に対して津波磯野前面に連れに対しては津波上は、
1:00:00	の、
1:00:01	地盤は影響しないと、もしあったとしても、
1:00:05	ほとんどを発電所に影響することがないとか、
1:00:10	そういうことをちゃんとストーリー立てて説明してもらえばこの専決の話っていうのは終わると思いますので、
1:00:17	その点は整理の方をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。
1:00:29	北海道電力の佐藤です。ご指摘に対して、現状の解釈といたしましては、包丁での構造成立性で言えば、敷地前面の護岸をない状態で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:41	構造成立性見ておりますので、そちらへの影響はないというふうに考えているのと、あとは入力津波の観点でもですね敷地の沈下の
1:00:50	何か内数に入るのではないかとというふうに米田地区で考慮しておりますので、前面への影響はないというふうに考えております。その旨ですねこちらでわかるように記載のほうを追記していきたいというふうに思っております。以上です。
1:01:04	了解しました。
1:01:06	先駆すだけを取り出しちゃうと今おっしゃったように、技術的なハダ言ってるんですけど、影響はないと。ただし、また、そういう意味でセンクツっていうことを言われても影響はないんだけどこういう対策やってますとか、
1:01:19	ストーリー立てて、
1:01:22	整理してもらえようをお願いしたいと思います。
1:01:26	はい。北海道電力の佐藤です。承知いたしました。
1:01:41	はい。規制庁藤原です今の話については、当間竹井。
1:01:46	昔は今のコメントNo.のこれは71番だとちょっと地震後の話っていうのはちょっとないので新たにちょっとコメントを起こした。
1:01:57	それは今後回答いただけるようにします。ただ71番1日量として、はい、別途管理したいと思います。それじゃあよろしければ、別に説明してください。
1:02:10	北海道電力CSコメントNo.73についてですけれども、そこを流動による水平方向の変位4メートルに対し、
1:02:21	格子間隔5メートルより小さいことから遡上解析に与える影響は軽微としている理由について、
1:02:28	根拠を整理していただいたコメントですけれども、ここでちょっと4メートルですけど、もう保守的に5メートル、水平変位が生じた場合を、
1:02:38	想定しました津波遡上解析を実施しまして、基本ケースとの最大水位上昇量との比較によって、側方流動等による水平変位が遡上ケース解析結果に与える影響がないか。
1:02:51	ということも整理してございます。そちらが、
1:02:54	664ページ。
1:02:59	からその資料まとめてございまして、
1:03:03	基本的に計算格子間隔ワンメッシュ分の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:08	5メートルをコウ、
1:03:10	包丁てアノ会海側からの護岸から防潮底までの距離をワンメッシュ分長くして解析を行いました。
1:03:20	そこで665ページのように結果が、
1:03:27	出ておりました、
1:03:29	水位上昇量の比較をしても、
1:03:36	す。
1:03:39	波源、
1:03:41	D、DとFについてはもう基本ケースの方が高く、
1:03:46	なっていると、
1:03:49	波源については
1:03:51	基本係数より5メートル沈下かつ水平変位5メートルを考慮した方がちょっと0.17、
1:04:02	メートル大きい。
1:04:07	すいません、ちょっと。
1:04:09	お待ちくださいね。ええ。
1:04:11	と、
1:04:13	波源Aは水平変位5メートルの方が敷地沈下5メートルより大きいですが基本ケースに比べて小さいことから入力津波に与える影響はないと。
1:04:24	いう、整理としてございまして、
1:04:27	最大流速についても同様に整理してまして基本的には、
1:04:34	基本ケース出すと変わらないというような結果となったということでまとめてございます。以上です。
1:04:42	規制庁藤原です。
1:04:45	一応言わんとしてることわあ、あれですかねとりあえず、格子間隔が5メートルだったんで、5メートル分、動いた状態で、とりあえずさっと計算をしたら、
1:04:57	影響なかったよって言う言いたいことなのかなっていうちょっと思い、今、速水内様からちょっと、はい、わかりました。
1:05:13	規制庁の谷口です。
1:05:15	これモデルを変えて、ねじ部をふやしてやったっていう話ですけど。
1:05:21	具体的にどういうふうに変えたのかっていうのを、
1:05:24	もう少しきっちり変えていっていただけないですかというのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:29	まず、モデルはこういうモデルだったやつをこういうふうにふやしたっていうのを伝え変えてきっちり説明をして、
1:05:37	これで解析をした条件をきっちりわかるようにして、
1:05:41	記載をしていただけないかなと思いますけどいかがでしょうか。
1:05:45	北海道電力の吉井ですご指摘承知しました。モデルの変更後のモデル変更前のモデルの比較ということをしてまして、
1:05:56	記載の充実化を図りたいと思います。以上です。
1:06:00	お願いしますよ。
1:06:08	はい。そしたら
1:06:10	そうですね。
1:06:29	規制庁藤原です。このナンバー43については、記載をちょっと追記した上で資料提出してください。一応コメントとしては了としてツツミ扱いにします。
1:06:40	それではその次、ナンバー74と78。
1:06:44	ですかね、これについて説明ください。
1:06:47	ナンバー74、離岸堤取っ手を透過性とした根拠ということでございますけれども、
1:06:54	離岸堤等の消波ブロックにより、構造物は空隙を持ち、統括を有していることから、
1:07:02	防波堤等の
1:07:05	不透過構造物に比べて津波を遮る効果小さいと考えられ、土木学会の2016においても、消波ブロックを積み上げた透過性の離岸堤等については構造物がないものとして取り扱う場合が多いとされていることから、
1:07:21	透過性と記載してございます。
1:07:24	ナンバー78ですけれども、
1:07:29	ます。ちょっとエビデンスを用いて今ご説明しましたけれども実質的に投下することが実現象として安全側の配慮となっている。
1:07:40	オカということも含めてモデル化の妥当性について説明するところでございますけれども、
1:07:46	離岸堤及びとっては津波伝播経路上に位置しており、透過性を持たせることで、津波が現世されず、保守的な評価が可能になるということでモデル化しないのは妥当と。
1:07:59	ということで、回答させていただいてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:05	こちらについては資料1-2の672ページ673ページの方で同様のことを記載してございます。
1:08:14	以上です。
1:08:18	規制庁の江崎です。
1:08:20	ここでね、
1:08:22	例えば回答で74で、
1:08:25	土木学会に書いてあることは、
1:08:28	取り扱う場合が多いと言ってるだけの話で、
1:08:32	根拠になってないか。
1:08:34	とり使わない場合もあるわけだよね。
1:08:38	それと、二つ目の答えの78で言っている。
1:08:42	等価透過性を見た方が厳正っていう話だったら、
1:08:45	全反射でやるじゃないですか、提案者でやった場合って、保守的になるんですかからないんですかっていう話。
1:08:54	そういう観点からするとそういう疑問符書き残ってしまうので、
1:08:59	いわゆるまだ回答になっていないと判断します。
1:09:04	それで、
1:09:07	一つは、地震とか、地震だけだと波浪の事例とかではいいんですけど、
1:09:13	こういったものを納付シミュレーション
1:09:16	でやってると思うんですが、例えば3.11の津波の時とか、
1:09:22	そうしたときに、
1:09:24	透過性として扱った方が、
1:09:27	水憲章に、
1:09:28	投票をシュミレートできているのか。
1:09:31	等価性と透過性を無視した方が、なってるのう合うのか。
1:09:37	またその透過性等どっちでもあんまり関係ないとは関係ないのかもしれない。ちょっと議員と泊コウとかね。
1:09:43	そういった観点ではその前半者として考えたとしても、なかなかその、
1:09:47	部分的に、
1:09:49	角度的に言ったらいいんですかね、津波に入っていくっていうその反射する方向で別に泊の方向に向かっているわけではないから特に影響ないとか、確か何か説明できないんですかね。
1:10:08	北海道電力のエンドウCS

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:11	星です。すいません。
1:10:15	前。
1:10:16	今
1:10:17	こちらのちょっと保守性をの説明。
1:10:21	したのはですね、基本的に離岸堤及び取っ手が津波伝播経路上に位置して、
1:10:29	いるのでモデル化しない方が、津波が到達しやすいということで保守的な評価が可能になると。
1:10:37	というような
1:10:38	ことでご説明させていただいたんですけれどもちょっと販社
1:10:44	した方が影響が大きくなる可能性そういったものも、
1:10:49	あるという。
1:10:51	ことで波浪の事例とか、そういったところを、
1:10:56	を持ち出してちょっと整理をするということだと思っんですけれども、ちょっと今事例等整理して、
1:11:05	できていない状況ですのでちょっとそういった説明が可能かと、ということで、ちょっと記載を検討したいと思います。以上です。規制庁瀬崎ですけど、ここで言っている土木学会で大井、
1:11:17	大が多いっていうのはどういう意味を持ってるんですか。
1:11:21	その場合ってのは、どういう場面の使われてる感じなのか。
1:11:25	そこを多分土木学会とかさ、監査役が何せだけ忘れちゃったけどさ、つなぎのさ、
1:11:33	医師言った先生たちがやってらっしゃることではこういう、
1:11:37	どう扱っていて、それがどういった事情を、だったら、ちょっと非常に説明が、
1:11:46	高い。
1:11:47	結果が、シミュレーション結果が出ているかという話だとは思っんですけど、
1:11:53	場合が多いってことは、逆に言うと、
1:11:56	少ないけども、
1:11:59	透過性を見ない場合もある。
1:12:01	ということですよ。
1:12:03	それ言った時にその場合が多いっていうのは、どういった場面でどういった意味合いのものをやってらっしゃるって、そういうことを書いているのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:12	そういうことを含めてただ単に場合が多いってさ、
1:12:15	うん。
1:12:16	透過性として、
1:12:18	設定しろって言ってないよね。
1:12:20	うん。
1:12:21	うそそういう言い方じゃないでしょ。だから層厚だよな。
1:12:26	我々の規制基準もそうだしガイドもそうだし、一般的な努力商社なんかでもね。
1:12:32	よほど何か参考的な場合を書いてあるのは、
1:12:37	フクイ型んなると思うんだよね。一般的に指針と言われるものは、
1:12:43	けども、これは絶対忠実に守れといったものに関してはそういう書き方にはされてないはず。
1:12:49	なので、このんだから、それは説明としてまだ足りていないという話なんだけど、
1:12:55	そもそもこれってこういうことが書いてあるってもともと事例があって、実事例があって、書いてないはずでそれが、
1:13:03	どういったことで使われていて、この
1:13:07	でこの泊で使った場合には、こうした方が安全性または現実的なのか、そういった説明がされないと、回答になってないと思うんだよね。
1:13:17	大した話じゃないとは思っただけさ。うん。
1:13:22	北海道電力のRCS土木学会の構造物がないものとして取り扱う場合が多いというところの、ちょっと記載のもう少し、
1:13:35	詳細を分析した上で、ちょっと実事例等、
1:13:39	を踏まえた上で記載の適正化を図りたいと思います以上です。
1:13:44	沖合底とか離岸堤とかって例えばそれが角度的に、津波の入射方向から考えてそこの反射地震で泊の方に来るような会社でいわゆる
1:13:55	レンズんレンズみたいだね、どっか集中するような、
1:13:59	状態に、
1:14:01	なり得るのかなりえないのかという話もあるとは思っただけさよねそう。その途中でくる経路でもあるから、
1:14:07	そこでどう考えるかっていう部分もあって

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:12	基本的にその反射することによって拡散されてしまうという可能性だってあるわけだから、
1:14:17	その辺はなんかね普通通常で考えたときに入射角とね、反射学の話だけだから、
1:14:24	そんなにスネルの法則とそんな変わらないと思うんで。
1:14:27	その辺をちゃんと説明いただければ、計算しなくてもね、別に。
1:14:32	平面図でも何か、2足を入れて説明はできるんじゃないでしょうかとは思っただけど。
1:14:44	北海道電力の増資です。
1:14:50	そういった反射版シャーシを想定する場合とか想定しない場合とか、
1:14:57	そういうところはあると思うんですけども、
1:15:02	反射して拡散される場合とかそういった事例とか、そういった情報収集した上でもう少しロジックを
1:15:14	構築したいと思います。
1:15:19	はい。
1:15:20	北海道電力の高橋です今事例というお話をしてますけれども、泊発電所の実際の李宛っていうか、消波ブロックがどこにあるかっていうのがもう決まっていますんで、
1:15:32	そこを踏まえたときにそれが反射して、それが今ほとんど、安全面にありますんで、それが反射したとして、現実、
1:15:43	施設側に向かっていく波ではないとか、そういった意味で厳しくならないんだ。
1:15:49	ていうようなことの説明もできると思いますんで、その辺、記載していきたいと思います
1:16:00	規制庁ですじゃあ何、74と78は継続ということですよ。ます。
1:16:07	あと、次はNo. 83ですかね。
1:16:26	北海道電力の吉井ですNo.83、ちょっと固有周期に会える影響について考察を行い説明することと、
1:16:36	いうところですけども、これ、12号、同取水施設の取水、
1:16:43	このスイート取水ピットスクリーン室の水位で最大となるケースが入れ替わったというところローでその考察というようなご指摘でしたけれども、
1:16:55	12号炉の流路縮小工により、通過流動が流量が抑制されることにより、放水コースイノマタン周期成分が

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:05	取水ピットスクリーン室水位に及ぼす影響が低減されて、長周期成分がより支配的になったと、それが要因であると考察してございまして、
1:17:20	添付資料の方でいきますと、811 ページから、
1:17:27	816 ページの方でそちらについて、
1:17:30	まとめてございます。
1:17:38	814 ページ。
1:17:44	あ、ごめんなさい。噴破計図が載せられていて、815 ページにちょっと拡大図が載せられていると。
1:17:53	というような状況でございますが波源イージー一井に比べて激しいのところの第2羽のところを、
1:18:04	に着目していただきますとですね、
1:18:09	波源Cの周期のところは300秒でその他が大体200秒前後と。
1:18:17	なっていてその長周期。
1:18:21	に
1:18:23	の影響が支配的になっていることから
1:18:28	Aピットスクリーンスの水については、流路縮小工ありだと、波源Cが一番大きくなっていると。
1:18:35	というようなことで
1:18:38	考察してございます。
1:18:42	以上です。
1:18:48	規制庁藤原ですこの資料、そちらのハザードの担当の方と違って、見られたりしてます。
1:19:00	北海道電力のエンドウCS、一応確認はしてます。
1:19:08	一応、我々がこの資料見たときですね、基準津波の波源の選定というハザード側の問題とあと入力津波の設定という観点、
1:19:20	これについてそれぞれどう考えているかが、ごめんなさいこの資料では考察なされてないように思ってます。
1:19:30	その点、この資料から見て、
1:19:34	どうお考えですか。もっと詳しく言いますね。基準津波の波源は、
1:19:39	取水口というところで一番水位が高いものの波源を、
1:19:46	パラスタして決めているわけなんです。
1:19:49	それと何か入れ替わったっていう表現を安易に使われてる、この理由が私には理解ができなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:58	本当にこれハザード側の担当が、
1:20:01	これを見て、何も考えてないのかっていうそもそものちょっと、
1:20:06	私はちょっと疑問があるんですが、
1:20:45	規制庁モリワキですけど、確かにね、
1:20:50	今までの、
1:20:52	ところって、基本的には、まずはいろいろ縮小コウ設けなければ、この結果を表してるように、
1:20:58	別 2、
1:21:00	取水口とかその、
1:21:02	その流入コウノそうね。
1:21:05	一番入ってくるですね、入口のところで判断できたわけですよ。それはもうミツイこの、
1:21:13	815 ページで、表してるんだけど、やっぱり流量縮小コウが入ってしまうと。
1:21:20	とたんにそれ変わってくると、遅れが出てくるって、いわゆる流路縮小工程水の流入をおくらせる。
1:21:27	だけど、入ってしまった水も今度出にくくなるので、次に、9、津波の繰り返しが多いところは、
1:21:34	次の波ウワー。
1:21:36	全部。
1:21:38	書き出す前に入ってきたっちゃうんで、高くなっちゃうと。だから、
1:21:42	300813 ページ見るとそう結構表れていて、そもそも、
1:21:47	大津取水口の地点で最高水位で見たのが剥げ 2 の 12.74 だったんだけど、それ以外の激しいの方が、
1:21:58	流量シユクシヨクを設けた場合のその実際の
1:22:02	評価の入力際の評価位置ですよ。水ピットスクリーン
1:22:08	だそう過ごさすっっていうのは、
1:22:10	そこでのあれが基本的には高くなっちゃってると。
1:22:15	それは、ここに書いてある 815 ページの激しい見ると、
1:22:22	いわゆる
1:22:28	取水口での水位が、基本的には
1:22:32	一派とニワの間に完全に
1:22:36	0 メーターを、
1:22:38	切るような状態じゃなくて
1:22:41	いっぱい繋がってきてしまっている。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:44	がゆえに、基本的にこの緑の線を見ていくと、
1:22:48	全部排出する。
1:22:50	状況にならないで、基本的には、次の年にはめノダ水が入ってきてしまうんで、よりたまってしまってるんで、箱、箱の
1:22:59	うん。
1:23:01	箱ってごめんなさい津波の高さ水位が高い、例えばしその下のは原因に比べて
1:23:08	保守的な結果が出ちゃって保守的っていう厳しい結果が出ちゃってる。
1:23:12	て読めるんですよね。
1:23:13	これから考えると、
1:23:16	一つは
1:23:19	入力津波を選定する意味で、ルール縮小工をして、を置いているところは、要注意かな。
1:23:27	ということですよ。普通でその入る入口で判断はできなくなってきているのはこれで読めるわけで、
1:23:34	場合によって簡単に言えば、全部は全件数、計算すれば、
1:23:39	わかるわけですよ。その必要性はあり得る。
1:23:44	だけどそれを、
1:23:46	簡略化するとしたら基準津波の段階で、例えば加古川、
1:23:51	加工は下降側で選ばれた基準津波まで選ぶ必要はないかなんかと思っていて目的が上昇側だけで、そうすると減ってくると思うんですよ。
1:23:59	それで、
1:24:01	行ったときに、おんなじ話はこれもう、
1:24:05	前回なされていて、それは何かっていうと、
1:24:09	ルール縮小コウノなんだけ。
1:24:11	損失係数を求めるための実験とシミュレーション、ここでも同じ話はされてるんですよ。
1:24:18	そこで考えると、内野さんの方で審査官が言った話は、基本的に言うと、
1:24:24	水量でしょうと。
1:24:26	いわゆる水量が一番多いのはどういう状態なのか、あのときは、
1:24:31	限られた一般名と、ニワ目と3番目と4番目。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:34	比較するといろんな話だったんだけど、全体として今これ見たときに網羅性が、
1:24:40	ないなと思ったのは、例えば、セキのときはそこはちょっと話したけど、こっちの私の方がお話聞いておられたんだけど、813 ページ見ると、あれは実験だからまだいいんですけど、
1:24:53	今回は入力津波なので、必ず網羅性がないといけない、基準津波とそのパラスターケーススタディーの中で、
1:25:00	一番厳しいものを選んでこないといけないってことになる、本来は全部やればいいんだけど、
1:25:06	間をこの表だけ見ると、いわゆる、
1:25:09	防波堤の健全性と、その波源との関係とかそういったもので、プラス出してそのそれぞれの代表的なものの最大値を選んでるっていう観点じゃないですか。
1:25:23	ではなくてやっぱりは形でしょうっていう話ですよ。では形はという、一つの判断。
1:25:31	基準で考えるかっていうと、前回、内野審議官が言った、審査官が江川で行ったのは、水量でしょ。
1:25:38	それが今この秒数っていうのに表れてるんだけど、815 ページのこの一番上の紙激しいは、
1:25:44	これ見第 2 ハタケ 300 って結構長いわけですよ。それと、
1:25:51	0 クロッシングしてないものも含めるとその場合の 600 ぐらいじゃないですか。
1:25:56	ぱっと見た目 600 行ぐらいありますよね。
1:26:00	で、いわゆる 0 クロッシングしてない。
1:26:03	時の
1:26:05	水の量、
1:26:06	方、
1:26:07	実際に、
1:26:08	調べてみて、
1:26:10	今選んでいる度だけで十分なのかどうか。
1:26:14	という検討が必要なんじゃないでしょうか。
1:26:17	チェックは、
1:26:18	それでねまず、
1:26:20	女川なんて、基準津波 2 個しかなくて、
1:26:25	一波が上昇がよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:27	で、2番目が、加工は余談で、
1:26:30	基本的に変わらないんですよ。それも、あそこは繰り返しはあるけども、1番目で勝負きくなっちゃってドーンと一発オオキたらあとはもう、
1:26:40	ものすごい小さい津波が来るだけで、そこには対象にならないというがあるので、80条宿直を使ったとしてもね、
1:26:49	そういうことが観点とするとここって繰り返しが多いという、ということと、基準津波が非常に多いから、
1:26:55	その網羅性っていう観点で、
1:26:58	一波とか通過しかないのだったら、国は形をさ、上と下のね、図面で見比べれば、あまり変わらないなど。
1:27:06	いう感じはするんですけど結構、これを見ると、かなりね、流路縮小工というものがあるがゆえにかなり、
1:27:14	複雑になってるなと思うので、数も多いので、やはりもうちょっとここは慎重になって、
1:27:21	本当にこれでよかったのかっていうのを確認しないと、
1:27:27	許可がおりて、認可ではだんだんそういう話があって、やってみたら、そうじゃなかったら去年もなきやいけないので、
1:27:34	うん。
1:27:35	で、
1:27:36	基本的にはそれはありえないと思いますんで、
1:27:38	そこはしっかりと今、慎重に確認。
1:27:41	さしていただきたいんですが、よろしいでしょうか。
1:29:28	事業者で今確認中です。
1:32:30	はい。
1:32:34	北海道電力の植原ですけれども、こちらの入力津波の設定というところで、
1:32:41	設計にも用いる値ですので、泊の特徴として、流路縮小工を設置していること、あと波源の数が多いこと、あと繰り返しの波の襲来があると。
1:32:52	いうところでちょっと複雑になっているのかなと理解しております。
1:32:56	やり方としては全部の波源に対してやるやり方も考えられますけれども、水量の観点とかで、事前にフィルターをかけて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:07	その後の評価を進めていくとか、そういったところも考えられると思いますので、持ち帰り検討させていただきます。
1:33:18	規制庁の江崎です。よろしくお願いします。私から以上です。
1:33:26	規制庁藤原ですけどもこの資料1-1のですね63ページを開いていただくと、
1:33:35	63ページ2ポツ2で、
1:33:38	12号取水口の基準津波を検討対象とするってなってるのが、
1:33:44	四つに、いきなり絞ってると、ここが一番、今議論したところで、四つでいいのかっていうところですのでちょっと
1:33:53	今、タダノ考察が進まないというところは、今のちょっとこの全体的な方針と主査の御考えいただけるをお願いします。私からは以上です。
1:34:05	規制庁の長瀬さんの文章だけなんですけど、全体見直す時にですね、資料1の良いのは、
1:34:12	111ページで、
1:34:16	この概要を、これ、日本語を正しく書いてもらえますか。
1:34:20	サンゴ取水量の水位上昇側の評価では、
1:34:25	検討対象範囲における3号炉を止水口エンドウが最大になるケースが、
1:34:32	一次元感度解析においてもってことは、他に何かやったんですか。
1:34:38	何かを、
1:34:39	は、やっぱりずっと読んでいくと意味が通じなくて、ただ、
1:34:45	他の分析結果とかなんか見ると、
1:34:48	何やってるかってわかるんですけど、この概要もちょっとわかりやすく、一体どういう解析で、それが1次元とどう比較するとどうだっていう、
1:34:58	文章になってないんで、
1:35:00	次いで全体を見直すときにはその文章も概要を見直して欲しいんですけどよろしいでしょうか。
1:35:07	北海道電力の吉井です承知いたしました。こちら、検討する解析については1限界感度解析今のみですけれども、
1:35:18	ちょっと置いてもってという表現がちょっと適切ではないと思いますのでちょっとこの概要全体の記載をもう少しわかりやすいようにミラウ見直したいと思います以上です。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:30	全体のストーリーも併せて見直してください。
1:35:33	私からは以上です。
1:35:51	すみませんし、規制庁のタダウチなんですけれども、
1:35:55	ぜ。前回ゆ流路縮小工のときにもお伝えしました京江崎の方からも当然お伝えしている話だと思うんですけれども、
1:36:07	入力津波の選定とか能力縮小工の損失係数の話、当然、
1:36:12	あったんですが、そもそも対津波防護としてね、入力津波の設定として、
1:36:18	今回何考えなきゃいけないのかっていうところの整理をちょっと、すみません、ちゃんとしてもらいたいと思ってるんです。通常だとその前面の防潮ての雨水の高さってのものすごい気にしてでは下の数少ないからさっき江崎も言ったんですけど、
1:36:31	もうそれをオオキにしてその少ないものに対して感度解析やって内部敷地内への影響というのを評価するっていうのが通常のパターンだと思うんですけれども、
1:36:42	泊の場合先ほども話題出たように波源の数が、
1:36:46	非常に多いっていうのと、
1:36:48	4%ぐらいまであり繰り返しの波が、ある程度の期間内に来ますよっていうことの特異、これも泊の特異性になっちゃうんだけど、そういったことを考慮する等を前面だけの話。
1:37:00	水位高さだけではなくって敷地内に及ぼす影響っていうのを別途ちゃんと考えるっていう、プロセスをちゃんと踏んでもらわないと、耐津波設計の根本的なところの位置付け、何をそもそも評価しなきゃいけないかっていうところを、
1:37:16	をやらない、考慮考慮して検討しなきゃいけないってところが、抜けちゃうとこれ、そもそも何やってるか分かんなくなっちゃうと思ってるんですよ。そういったところでは、
1:37:26	敷地前面の防潮てのところの水位の高さって他社と同じだと僕も思っていますけれども敷地内控除てる内側に対する耐津波への影響の一つの
1:37:37	評価、評価っていうかね、気にしなきゃいけないところとして、津波が直接入るようなルールのところでは上部が開口になってるような、
1:37:48	オープンサージ形式のね、ためますみたいなのところがあるのであれば、その水位がどれだけ上がるかっていうところの評価を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ガチで評価しなきゃもう真面目に評価しなきゃいけないっていうのが、
1:38:00	今回一つのポイントだと思います。それが、取水ピットスクリーン室の水位の話この前も水量で水を流れ込んでくる水量の話をちゃんとやってくれて話が当然あるんでそれは、
1:38:10	流路縮小工っていう、一応その低減効果のある呉施設を設けてって話を言ってるんだけどそれを設けることによってすす繰り返す小オンダアノモリノ。
1:38:20	オクセイノ繰り返す来る津波に対して、水位がね、すごく高くなっちゃうケースがあるんじゃないかということに気になって話、それをしっかりとやっってくださいって話が。
1:38:33	まず一つがあるんだと思っているのと、ちょっと今日いろいろと話があって気になったのが、
1:38:39	ハウスイの方は、包丁で出崎側、Sクラスじゃないから壊れてしまうんですって話をおっしゃってたと思うんですけど、それによって、
1:38:50	これも言い方がいいか悪いかわかんないんですけど、流路縮小工みたいな効果を、を生じてしまうような状況を想定しなくていいんですか。壊れ方によっては入りやすくはなるけど抜けにくくなるような、
1:39:02	状況が生じませんかっていうのが喜納そうするとね、
1:39:05	工水もそうなんだけど、取水槽から取水もそうなんだけど放水側もそれちょっと気にしなきゃいけなくなっちゃうんで、その損傷の形態を想定してね例えば仮にを委託する大くくりの例えば、
1:39:20	損失係数みたいなのを、何か弾き出そうと思ったら、これは無理だと思ってます私は正直言って、
1:39:26	様々なケースを考えて損失係数をね、護岸側のとか、要は、
1:39:35	ハウスイ側のね、
1:39:37	損壊状況を踏まえて、このくらいの損失係数みたいなものを設けりゃなんてのは無理だと思ってるんですよ。そういう意味で言えば、そこはもうしょうがないんで仮説として壊れたらこんなものができましたっていうのを一つ置いてみて厳しいケースを一つ置いてみてそれによって、
1:39:54	最高でもこのくらいしか影響与えませんという評価を少なくともやってみて話か。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:00	出てくるのかなって思ってこれちょっと考え方をしてどうしようかっての事業者の方で考えてもらう僕が僕らが考えるんじゃないかと、
1:40:07	事業者でどう扱うかって話だと思うんですけども。
1:40:11	ちょっとそこら辺は、取水側だけじゃなくて放水側も放水ピットの水位、敷地内に放りある放水ピットの水位がどんだけ上がるんだらうっていうのを今後気にしなきゃいけないかなと。
1:40:24	18種類ぐらいある津波に対して4、4%ぐらいあるつあの繰り返しの津波に対してどういう敷地内への影響として評価しなきゃいけないのか。
1:40:33	いう話をしなきゃいけないかなって気がするんですけど。
1:40:37	最終的にそれをどう検討してどう処理するかは、事業者の考え方次第だと思うんですけどね。
1:40:44	ちょっと、さっき言った一般化するとさっきも言ったように、前房ちょっと前面だけじゃなくて敷地内にある。
1:40:50	オープンピット系ケースオープンピット形式のものに対する、敷地影響評価っていうのをちゃんと何らかの形でやらなきゃいけないそのチャンピオンケースについてじゃ、
1:41:01	耐津波設計としてつなげていって話をやっていかないと、
1:41:05	もうきかなくなっちゃいますよ。
1:41:11	そこら辺どうですかね。
1:41:13	大分半分ぐらいはもうユフオオノ検討とかで手をつけているんですけども、
1:41:19	類似一般化ということ言えば、
1:41:22	そういう話も、
1:41:24	出てくるとか、言われかねない話に多分なってるんじゃないかなと。
1:41:28	今のにちょっと答えてもいい。
1:41:32	すいません北海道電力の高橋です。今タウチさんからご指摘いただいた通り、泊の特徴というところで4%、それから、
1:41:43	繰り替えCの襲来っていうところが

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:48	泊の特徴としてあるんでそういったことを踏まえた時に包丁で前面だけではなくての方水路取水路みたいな管路のあるところが今回、
1:41:58	流路縮小工を設置することで、今まで水位に着目して見てればよかったものが、水位だけではちょっと難しそうだったというのが、結局、
1:42:10	今日の結果からも見えてきてると。そういった意味で先ほど江崎さんからも言われた通り、その辺、水量なのか、そういったところを少し、しっかり組み立てて欲しいという話をいただきましたのでそこを、
1:42:26	を考えていきたいと思ってまして、さらに今度、途方水路を、に関して、耐震性持ってないので、
1:42:37	崩れたり何だりしたときに、それが仮の流路縮小工みたくなくて、そういう現象があるんじゃないかっていうことだと思うんですけど、まず取水炉については、
1:42:50	順番に行きますと取水量については耐震性を持って、12号に流路縮小工をつけてるサンゴは通常通りということなので、12号の流路縮小工については水理模型実験等含めて、
1:43:02	評価するときに、そちらの水位だけじゃなくて逆に、
1:43:08	上昇側の方が高くなる、1次元の解析結果が高くなる方を、一つのポイントとして、安水模型実験で確認していきますということで整理をしています。
1:43:18	それとともに、3号の放水も、前回ご説明した時には、水、前面の水位でしか見てなくて、やっぱり流路縮小工等の同じ流路縮小工なんで放水側の方で、
1:43:32	しっかり見るべきじゃないかってことをコメントいただきましてそれについて今検討していると。
1:43:39	今度、放水側3、一、二号の放水側で言いますと、
1:43:45	あちらは流路縮小工というよりも、フラップゲートで閉止をさせるということにしていますので、放水路膨張等より海側が崩れて流路縮小工的な効果があったとしても、
1:43:58	最終的にはフラップゲートで止めに行きますんで、そういった意味では流路縮小工みたいなものもできたとしても影響を与えないのかなというふうに整理はできるかなというふうに思っています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:13	そういったところをですね、
1:44:19	サンゴだけかなあとと思いますんで、サンゴの放水については流路縮小工そもそも入れてますんで、
1:44:27	そういったところの中で、
1:44:29	多かれ少なかれ、あると思うんですけども、それは今の流路縮小工を設置したことによって、先週言った通り、
1:44:39	すす全面で見てましたけど、12号と同じように、放水ピット側の水位が高く出る。そういったところを少し確認して、代表を性を見ていかなければいけないというふうに思ってますんで、
1:44:53	そこは整理をさせていただいた上で、ご説明させていただきたいと思い
1:45:00	イワササンゴのケース今ね、おっしゃったみたいな3号側の、その前面側で、
1:45:06	少し流量が少なくなってくるものが、長時間コウカ縮小工の効果があまり出ないような形で流れ、
1:45:14	というようなものってのは、想定する必要ないのかとかね。
1:45:19	そこは大丈夫。
1:45:27	それはあくまでも前面のね水位の変化によって評価ができると思うんですけども、どっちが支配的になっちゃうのかみたいな話が、
1:45:37	前面の流量宿直で揉む海側の大きな物が何らかの影響を及ぼすことこれはわかんないですよ崩れる程度によってどうなのかわからないんですけども、
1:45:48	もしも、サンゴのリユ流の縮小効果、もしも、例えばですよ。
1:45:55	もちょっと口径少ない方が流入しやすいなんて言って設計は広くはしてるんですけども、前面の方で流れにくくなっちゃって結果として縮小したのと同じ効果で、
1:46:06	流入しやすくなっちゃったみたいな話があつていや実はそっちの活性化中の水のピットの水位が高くなっちゃうんで流量が高くなっちゃうんですよみたいな話が、もしも懸念されるのであればですよ。
1:46:18	そういったケースも、3号機の方の流路縮小工のもしかするとパラスタケースの中でそれを含めてやるのかどうかちょっとわからないんですけどね評価の仕方がね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:27	検討は必要じゃないかなというふうにちょっと思ってるっていうのは、
1:46:33	はい。北海道電力の高橋ですけれども定性的にとか一般的にはもう絞ることで、遡上しづらくなるっていうことなんだとは思いますが、今でも今回流路縮小工の結果から見て、
1:46:47	どっかに何か転換ポイントみたいのがあるのかもしれないっていう、そういったご指摘なのかなと。もともと管路解析を実施していく中で、
1:47:01	今日も説明しましたが、ホース位置が壊れたりとかそっちの方がやっぱり厳しいんだらうっていうふうに思っ
1:47:08	てますんで、今のを思ってるだけじゃどうしようもないんで、先ほど言われた通り、どっかサンゴの粒子放水漏れの中で、
1:47:20	縮小を考慮したときに、それがどういう挙動を示すかっていうのを、何か確認するとか、そういうことをしないと多分お答えできないのかなというふうに、今までの議論を聞いて感じましたんで、
1:47:33	そこについてはちょっと考えさせていただきたい。
1:48:34	今、規制庁内で打ち合わせ中で少々お待ちください。
2:03:06	藤規制庁フジワラですちょっと今庁内打ち合わせが何かちょっと長かったですけど今終わりました、一応、事業者の方で今後整理は、今の議論を踏まえて、
2:03:16	やっていただくんですけども、今ちょっと我々の方の中でもやっぱり流量として、
2:03:21	見ていくっていうところも一つのある話かもしれないし、当町で流路縮小工の模型実験とか、呉さん、3号放水ピットと、
2:03:33	1号炉縮小コウですかね、あっちの話のヒアリングでも話出ましたように、私の話とちょっと、やっぱり数お互いにこの内容をちょっと整合させつつ、
2:03:43	今後きちっと取り組んで、整理をやっていただいて、
2:03:50	なんすかね検討いただきたいと思います。
2:03:53	よろしいですか。
2:03:57	北海道電力の高橋です今ご指摘いただいた、それから先ほど来議論させていただいたところを踏まえてですね、やはり泊の特徴を含めてどういうもので選定していくのがいいのか、それからまた先週の水理模型実験のときも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:11	同じ同様の議論してますので、その辺と整合させながら、検討してご説明して参りたいと思います。
2:04:20	規制庁氏原ですわかりました。じゃ、ヒアリングの方はちょっと一旦ここで中断して衛藤まだ後ヒート午後再開したいと思います。
2:04:24	はい。規制庁藤原です。程度ヒアリングを再開します。じゃあ事業所の方から説明を続けてください。
2:04:28	北海道電力ノロ氏です。コメントリストのNo.92、18 ページ目の 92 のところからご説明させて、
2:04:38	あ、ごめんなさい 92 じゃなかった。
2:04:40	98 スミエ申し訳ございませんアノ 98 ですね。
2:04:45	放水コウと放水地で、概ね同じ傾向にあることについて定量的評価も含めて整理し説明すると。
2:04:52	いうことでございますけれども、放水事放水値で水位時刻歴は形は概ね同じ傾向であり、
2:04:59	放水コウノ最大水位が放水地の最大水位に比べ高くなっており、
2:05:05	2100 秒付近において、放水コウからの流入が特に支配的にあるため、
2:05:10	放水コウノ最大ケースを用いることは妥当であるということ、
2:05:14	100 ページから資料 1-2 の 100 ページ、
2:05:20	から、記載してございます。
2:05:25	102 ページ。
2:05:29	今は形を載せてございますけれども、ちょっと、ちょっと
2:05:33	一応今のところ水の
2:05:36	観点で励んで 4 ケースを代表波源として選んでいましてそれらの方遂行とホース 1 のす。時刻歴は形を比べて、
2:05:48	見たところ、放水コウの方が第 2 はのピークのところは水位が高くなっておりまた、第 3%のところを比べると、放水コガは水位が高くなって、
2:06:04	放水値は低いままとなっているので基本的には放水コウの方が、流入が支配的になると考えているので、
2:06:15	放水コウノ最大ケースを用いることは妥当ということ、まとめてございます。以上です。
2:06:23	当規制庁フジワラですが、
2:06:28	何かわかりませんですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:32	そもそもこの100ページ以降の話っていうのは膨張ての北川が健全な状態であって、
2:06:39	とそがタイガワの放水コウノ、なミイ、
2:06:44	の最大でいいんですか。要は、内川の方スイッチのやつが、
2:06:49	Aの最大ケースは、
2:06:52	関係ないんですかってところがトイレ。
2:06:55	その問いに対しては薄井タケダ等、何かよくわかんないので、定量的に何か例えば流量という観点でっていうのが前回の、
2:07:06	もしアノで言ったら、流量ちよいとしていたんですね例えばこの102ページでいくとですね、
2:07:12	実際赤い、
2:07:15	破線赤い線かな、これが曾我井川ですかね。
2:07:20	青いのが内川ですかね。
2:07:25	この黄色い
2:07:28	点線がホース1の天端だから、
2:07:31	黄色い点線を上回るその青い線、
2:07:34	ていうのが極めて限定的な時間であると、だから流入する。
2:07:38	量も少なからう。
2:07:40	一方ですねハウスイコウノガイカイの方は下にあるし、それがずっとまで入りするのでそっちの方が、要は支配できるじゃないか、流量というのが何かもしかして、
2:07:50	指標みたいなもので使えるんじゃないかっていうと前回のヒアリングのコメントの趣旨はそうでしたので、今回のコメント回答では101ページの、何秒付近で高くなってる。
2:08:02	て言われても、
2:08:03	何か説明として何かよくわかんないってところがちょっとあってですね、これはどうなんですかね。難しいですか定量的っていうのは、
2:08:13	北海道電力のよろしです。基本的にその放水コウと放水値の時刻歴は形がほとんど似ていて、第3%付近で、
2:08:24	放水工の流入が支配的という、説明から流量に関しても放水コウが支配的という、
2:08:32	ような説明にはなると考えているんですけども、ちょっと直接的な表現になってないので、もう少し記載を適正化したいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:45	はい規制庁藤原です。記載の適正化というまず、定量的って前回なんですかねこのコメント内容って書いたのは、
2:08:54	今のその記載のような定性的なやつじゃなくて何か量、
2:08:58	量でもって示せないかっていうのが一つで、その指標とした流量というのはあるかもしれないけど、それは説明が難しいってことですかね。今、記載だけって言われるってことは、
2:09:13	北海道電力の吉江です。すいませんちょっと定量的というところで、ちょっと水と時刻というところを記載したというところであるんですけども、ちょっと流量の観点等の整理ができてないところもありますので、
2:09:30	ちょっとその流量の整理ができるかどうかということも含めて、ちょっと検討したいと思います以上です。
2:09:38	あとは規制庁藤原です。わかりました。継続とさせていただきますけどもちょっと前回のコメントの趣旨が何かうまく伝わってないがゆえに今回ちょっとあまり回答が、
2:09:48	できないようたらそれ、ちょっと趣旨をきちっとヒアリング中で確認いただいて、今後回答いただけるようにお願いします無駄にやっぱなっちゃうんですねヒアリングはよろしいですか。
2:09:59	北海道電力誘導施設承知いたしましたちょっと趣旨が振替できておらず申し訳ございませんでした
2:10:07	ちょっと今後もし金、疑問等があればヒアリングの場で確認させていただければと思います。以上です。
2:10:19	はい。規制庁藤原です。一応今指摘事項に対する回答は以上ということですが、じゃあ、資料全体の方の質疑の方に今度移りたいと思います。はい。
2:10:39	規制庁の谷口です。
2:10:43	入力津波の評価に当たって、
2:10:47	20 ケース。
2:10:50	やる。
2:10:51	そのうちの二つについては、
2:10:56	紐づけのある紐づけのないケースってな表現が書いてあるんですけど、
2:11:01	これの位置付け、ちょっと書き
2:11:04	書き方がよくわかんなくて、
2:11:06	基準津波の波源に紐づかない地形モデルっていうような表現が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:11	662 ページのところに、
2:11:13	あるんですけど、
2:11:22	この意味。
2:11:23	どういう。
2:11:25	ひもづかないって言ってるのかよくわからないので、
2:11:29	教えていただきたい。
2:11:37	160
2:11:38	うん。
2:11:40	2 ですね。
2:11:43	これじゃないな。
2:11:45	ごめんなさい。
2:11:47	場所がわかる。
2:11:56	そこんところですね、流速のところでの評価のときに、結局ひもづかないケースをとして 2 ケース。
2:12:05	ピックアップした。
2:12:06	というな表現がどっかに書いてあるんです。
2:12:08	それは、
2:12:12	ひもづかないって表現がよくわからないので、
2:12:16	位置付けを教えてください。
2:12:24	北海道電力のよろしです。
2:12:28	基準津波として 18 ケース、波源と地形モデルの組み合わせっていうのが選ばれてるのに加えて、
2:12:38	最大流速の観点で 2 ケース、追加で
2:12:43	選定したケースのこと。
2:12:46	野間ご質問と理解します。そうですね資料 1-1 の 59 ページ。
2:12:55	お願いします。
2:13:04	こちらが各波源で、すべての地形モデルに対して、最大流速を評価したものの一覧表になってございます。
2:13:19	この中で当間加来地形モデルの最大流速を評価したケースっていうのを、
2:13:27	抽出していきますと、この波源系の健全地形モデル等、防波堤の損傷を考慮した地形モデル 1、
2:13:36	北防波堤南防波堤とも損傷するケース、これ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:40	これについては、ちょっと基準津波で選ばれている、18 ケース以外のケースとなっていて、この波源計、
2:13:50	その健全と地形モデル1、こちらについては、
2:13:56	ひもづかないケースとして、整理してございます。
2:14:00	以上です。
2:14:01	そのひもづかないっていうのは、結局、他の10月ケースについては例えば波源の中で、
2:14:09	県前の地形モデルで一番、
2:14:12	高い数字をピックアップするっていうような表現で、
2:14:16	記載があって、ピックアップしてるんだと思うんですけど。
2:14:21	越冬は原形の場合のこの健全地形と、それから地形モデル市の場合の場合には、
2:14:29	結局そういう範疇で評価してるものと、
2:14:33	では、
2:14:34	要は評価できないけど、
2:14:37	実態として出てきてる数字が大きっていうスタンスなのかな。その辺がひもづけするっていう表現がよくわからなくて、
2:14:47	どうしたら、どういうふうなピックアップの仕方してるのかなと思ってちょっと聞いてるんですけど。
2:14:54	北海道電力のよろしです。まずそもそも基準津波自体が5ページ。
2:15:04	西。1-1の5ページに示される。
2:15:07	今日2、
2:15:12	各地形モデルでの
2:15:15	各評価項目、最大となる水位となる波源を選定してきていると。
2:15:22	というような整理をしまして、
2:15:24	なので基準津波の選定自体がこの波源と、地形モデルがひもづいたもので、
2:15:32	選ばれていると、というような
2:15:35	主旨になるんですけども、ただ、この流水、基準津波ってSEの観点で整理したものであって、流速の観点では整理をしていないと。
2:15:47	いうところでこの59ページにあります通り、ただ入力津波としては漂流物荷重等でこの最大流速を使った検討を行いますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:01	各波源の前、すべての防波堤損傷状態を考慮した上で、流速を廣井まして、その基準津波以外でも、この流速が大きいものを選ばれていると。
2:16:16	いうことで
2:16:18	加減系の健全地形モデルと地形モデル1が別途選ばれていると。
2:16:24	いうことで、その基準津波として、
2:16:27	紐づいた地形モデル以外のケース、基準津波候補の波源に紐づかない地形モデル。
2:16:37	において最大流速が認められているのでそれを拾ってきたというような説明になります。
2:16:43	結局、評価項目の中では水位変動量と突合モデルって書いても、区分けしてこういう最大値、その一番厳しいものをピックアップしてるけども、
2:16:55	結構、原則、
2:16:57	最大量即納。
2:17:00	パラメーターで数字が高くなるものっていうふうに考えたらいいんですか。
2:17:06	北海道電力の発表施設さんご理解いただいてる通りです。以上です。その辺がね、ひもづけっていう言い方が、今言ってるのは、
2:17:16	当然今の水位の上昇量とそれから地形との関係で決まってるもの以外に、
2:17:24	最大量足の評価として厳しいものを評価に入れたっていうんだったらわかるんだけど、その辺の紐付けっていう言葉が非常に引っかかったので、
2:17:34	その辺がわかりにくいので、何か表現の仕方を検討することは可能ですか。
2:17:41	北海道電力の吉江です。承知いたしましたちょっと紐づけるとか紐づかないっていう表現がわかりにくいということでしたのでちょっともう少しわかりやすい表現に見直しを検討したいと思います。以上です。はい。よろしくお願いします。
2:17:59	それからですね、
2:18:03	水位下降側の評価の話として、
2:18:11	水位下降側については、貯留堰を下回る時間で評価する。
2:18:17	そういう形で、
2:18:19	このモデルもピックアップしてて、数字が出てるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:24	このものに対しては、
2:18:27	地形の変化と、それから、
2:18:32	潮位とか変動。
2:18:34	それから、地殻変動等については、どういう評価をして、
2:18:41	この保守性の
2:18:43	考慮した時間を算定されてるのか教えてください。具体的には 62 ページ目。
2:18:58	資料の 2 の、
2:19:00	62 ページ目。
2:19:15	そうですね。
2:19:19	そうですね、ここの、
2:19:21	1-6-2-1 表、これは入力津波の評価条件としては、貯留堰を下回る時間で消化してる。
2:19:29	ねえ。
2:19:33	基本ケースと言われているものは 721 万 863 で出してるんですけど、
2:19:39	それをこういう形で三本ホオジロの荷重に、
2:19:44	評価として、
2:19:46	一番右側の数字に出した経緯、
2:19:49	この流れがわからない。
2:19:52	これは、潮位変動なり、地殻変動の数字が、
2:19:58	潮位マイナス 2 メートルとかこういう形で表現してるんですけど、
2:20:02	これをどういうふうに扱ってこの数字を出したのか教えてください。
2:20:13	北海道電力の吉井です。
2:20:18	等、
2:20:19	まず 62 ページの丸井。
2:20:24	一井で保守性を考慮した時間っていうのが出てきて、
2:20:30	まずけれども、こちらは基準津波で検討で評価をした時間となっていると。
2:20:38	いうところでございまして、地形変化の考慮を
2:20:43	についてもパラメータスタディを実施したところ、
2:20:48	この基準津波で評価した時間、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:52	超えなかったというところですので、影響要因としては抽出しなかったと。
2:20:59	いうところでございます。
2:21:01	また潮位変動で朔望平均潮位とかばらつきとか、
2:21:09	地殻変動 1.15 メーター、これらを
2:21:14	考慮してもともと時刻歴は系の、この貯留堰の天端のコウ-4 メーターというところを閾値にしていたんですけども、
2:21:24	それをこの潮位変動地殻変動分を上に入れて閾値を設定して、
2:21:31	時間評価をし直したところ、一番右側の 781 秒とか、745 秒とかそういったのが、
2:21:40	数値が出てきたそれを入力津波として設定したと。
2:21:45	いった次第でございます。その辺のね、今言葉で話をされた部分の経緯がわからないんです。だからそういうことを、
2:21:53	一応この数字を出すに当たって、どういうふうに考慮に入れたかっていうことを、
2:21:58	回答いただきたいなと思ってるんです。
2:22:03	この辺も * さんなんかで隆起量を解析結果に足し合わせるとか書いてあるんだけど、
2:22:09	何のこった対策、多少あってるのかわからない。
2:22:15	その辺の説明がやっぱりわからなくて、数字的にこれ出てきたのは結果としてこうでしたって結果しか出てなくてその辺の経緯がわからない。
2:22:28	してあげて、
2:22:29	出したっていうことが、
2:22:31	幸せって。
2:22:33	立ち会わない。
2:22:35	挑戦をずっと上げ、
2:22:42	だから、メーター塗料で出し合わせられないっていう
2:22:47	基本的にこの表の中ではそういうのは読めないんで、
2:22:50	あれ、ホカホカのね。
2:22:54	時間じゃなくて水位変動量でやってるやつは、きっちりその辺がわかるんだけど、
2:22:59	今の下降側のやつについては全然読めないんで、その辺の経緯をきっちり変えといていただけないかと思っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:16	北海道電力のエンドウCSご指摘の件承知いたしました。ちょっとこの辺りの説明、
2:23:23	特にこの閾値をこう上げたっていうところの説明、
2:23:27	がわかりやすいような記載にはなっていないので、ちょっと記載の充実化を図りたいと思います。以上です。はい。よろしくお願いします。以上です。
2:24:55	はい、じゃあその次きいまして私の方からは、パワポの23ページ開いていただいて、
2:25:06	海域のセンクツってというのが、ここの下から、
2:25:13	12345行目ぐらいにあって、もう設定しないというふうに決められている文章になっているんですけども、
2:25:22	パワポの一番最後のページですかね。
2:25:25	ところでいくと、海域のセンクツってというのが6番目で、
2:25:30	75ページですね6番目でまだ6月に今後反映予定って書いてあるので、ここってというのがツジのような気がしたんですけども、
2:25:41	北海道電力の吉江さん、ご指摘の件すみませんその通りでございます海域のセンクツについてはちょっとまだ検討中のところでございますのでツジとさせていただきます。
2:25:54	以上です。はい。イトウ規制庁シバですわかりました。あとちょっと私の方が記載だけなんですけども、えーとですね資料1-4というところにちょっと、
2:26:04	話をさせていただきますと資料1-4はこれは、次回審査会合で多分示そうとしてる、その中にいろんなメニューがある。
2:26:14	そういうものを全部突っ込んでるんだとは理解してはいますが、ただしですねヒアリング資料として、この資料1-4というのはこの当該ヒアリングに関する該当の箇所をちゃんと
2:26:25	明示してそれ以外のところはちゃんと次回説明というふうにしていただきたいなぜなら、この1ページ目見ていただいたときにですよ
2:26:33	包丁で前面の護岸の構築物について波及影響を考慮して、要は漂流物を云々悲しいについては今回説明対象じゃなくて本日一部説明内容でもないんですよ。
2:26:47	資料1-4の、
2:26:49	1ページ目。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:51	見1点わかりますかね。要は、ヒアリングにおいては、今回ぜ、本日説明のものに対してちゃんと明示してください。
2:27:00	本日説明じゃないものは、これわあ、
2:27:04	もうちょっと何か記載工夫してください。これ、まずこれいいですか。
2:27:18	北海道電力の植原ですけれども、資料1-4、審査会合の指摘回答一覧ということで、
2:27:26	これもともとちょっと審査会合のときに本日回答するものという趣旨で今は記載していて同日に、図の審査会合でご説明するような内容が全部、
2:27:37	黄色くなっているのかなと思います。で、ヒアリングにおいては、その中で、実際の当日のヒアリングの日にご回答させ、ご説明させていただきたくもの、
2:27:48	こちらがちょっとわかるように区別をさせていただきたいと思います。
2:27:53	はい、伊井と規制庁藤野ですわかりました。続けてこの資料1-4の3ページを開いた時にですね、この3ページで指摘事項の内容があつてですね、回答完了日が10月31、本日回答分がここであつて、
2:28:08	それぞれ10月31頭、この2日以降の内容が、
2:28:12	何か全くしないですよ。一体前回何回答したの。
2:28:17	今回の回答は何ですか。
2:28:19	そもそも何が残ってたんですかというのはさっぱりわかりません。
2:28:22	ですので、これらについては、まず、回答済みのものについては回答したもの内容をはっきりと明確にしてください。で、前回回答は完了して、
2:28:35	ここの記載が更新できない場合は、本日回答のところで、前回これについて回答した内容がこうであつて本日回答分はこれですとか、
2:28:44	もうちょっとこれ記載を工夫しないと、何を
2:28:47	回答しようとしてるかわかりません。
2:28:50	まずこの点、よろしいですか。
2:28:55	北海道電力の吉井です。申し訳ございませんこちらの回答。
2:29:01	としましては、この前のページの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:06	2 ページですかね、2 ページに記載している内容が同じ回答になりますのでちょっとそれ、それを呼び込んだ形になっていて、回答済みのところは上昇側の基準津波候補の
2:29:20	に関する、定量的、定性的評価と定量的評価の、
2:29:26	方針結果を示すと、本日回答とするところは下降側、
2:29:32	も含めた基準津波というところで評価結果を説明するという位置付けにしているんですけどもちょっとそちらを管理、省略して記載してしまったがためにちょっとわかりにくい表現となっていましたので、
2:29:46	丁寧に回答するよう記載を見直したいと思います。以上です。はい。宇都規制庁藤間です。わかりました。ちょっとまとめて回答するのは
2:29:58	それぞれ一つかもしれないですけどもただやっぱ、こうやって改めて見るとですねこのすさんの、
2:30:04	指摘事項に対して、この一つ一つの単語に対して本当に回答し切れてるかってのはやっぱりちょっとわかりにくいところあるのでちゃんとこの指摘事項を出したものに対して、
2:30:14	これに対する直接的な回答ですかね、これ今後ちゃんとやっていただきたいと思っています。
2:30:19	この点、
2:30:20	よろしいですか。全く同じ回答というわけじゃなくてちょっとアレンジしてちゃんと回答していただきたいということです。
2:30:28	北海道電力の吉江さんご指摘承知いたしました指摘事項の回答をピンポイントに概要に記載するようにしたいと思います。以上です。
2:30:39	はい規制庁藤原ですわかりました。これは同じ資料1の8ページも同じですね。これもう、8ページのNo.12は全く同じなので、これについてはご検討ください。よろしいですか。
2:30:53	北海道電力の吉井です承知しました。
2:31:05	長ナカザワです。資料1の2の、
2:31:09	659 ページ、とか、663 ページに、
2:31:15	既往文献で津波によるセンクツ田井セキ i n等の伴う、
2:31:20	海域の地形変化についてって参考資料7については書いてあるんですけど、
2:31:25	文献レビューで森下タカハシにおいては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:30	では最も評価が重要される最大津波水位や、最大浸水域の大事一般に依存することが多くと記載されているんですけど、
2:31:42	泊の場合はですね、例えば、
2:31:45	津波波源Dてみると、第1番目。
2:31:50	例えば大杉空港の推移を見ると第一波目の次が6.5で、
2:31:56	約5分半ぐらいに第2雨の
2:31:59	最高水位がTP11.1メートルとなり、
2:32:04	この第2案目の方が11.7倍ぐらい大きいんですね。
2:32:08	こういう場合もう今言った、その森下タカハシの分の知見がですね泊に使えるんでしょうかと。
2:32:17	いわゆる泊の状況も踏まえて適用できるっていう考察がないんですね。
2:32:23	ただなんか都合のいいところだけ取ってるような気がしました。
2:32:27	もう2点目がですねまた、
2:32:30	市野タカハシモリタタカハシに加えて、今井ほかによって、榊伊井において、
2:32:37	大一般依存することが多く、固定小と移動症の影響はほとんど受けないため、
2:32:43	再度条件が水の評価に及ぼす影響は小さいといえると言ってるんですけど、
2:32:51	泊の場合です、ですねSジンノ2、
2:32:54	海底地盤の議事録は座んとかS-砂層が液状化することによって、
2:33:00	砂が浮遊しやばくですね、回転沈下する場合もあると。
2:33:07	いわゆるこういうケースにおいても、
2:33:10	この文献の内容が適用できるかっていうのが書いてないんですね。
2:33:15	何か
2:33:17	いわゆる文献調べてそれが綱。
2:33:20	泊の特徴に適用できるかっていうのはこういう2点について書いてないんでこういう考察も要るんじゃないかなと。
2:33:28	地方分権を調べるだけではなくてそれが泊に適用できるかどうかっていう視点がないような気がする、するんですけどその点はいかがでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:33:39	北海道電力の吉井です。ご指摘の件ですけれどもちょっと泊の適用性については現在検討中でございます、ちょっとまた別途後日回答させていただきたいと思っております。
2:33:51	以上です。
2:33:54	それだったら、築地で、
2:33:57	ちゃんと書いといて欲しいんですよ、これで答えだと思っちゃうんですよ。
2:34:02	だから泊の適用性については今後検討中とわかるようにして欲しいんですけど。
2:34:07	今んところはここまで調べましたっていうんだったらそれで結構なんです、よろしいでしょうか。
2:34:14	北海道電力の吉江ですちょっとわかりにくいようなわかりにくい資料になっており申し訳ございませんちょっと泊の適用性とかそういうところがツジであることがわかるような形で
2:34:27	資料を直したいと思っております。以上です。
2:34:31	お願いします。あとですね資料1-1、例えば43ページ目から55ページ。
2:34:40	これはですね、いわゆる感度解析は1次元モデルをベースにするっていうことはわかるんですけど現在ですね、
2:34:51	いわゆる3号を3号炉放水ピット流量縮条項の評価検討フローいわゆる模型実験との整合性。
2:34:59	とかですね。
2:35:01	2番目の12号の取水炉を了承コウノ尊崇水道評価法に関する検討フローによっては、
2:35:12	今後、流れが見直す可能性がありますよね。
2:35:15	今はそういう前提条件を明確にして、これで1次元が成り立つという前提で作ってるっていうことは一言書くべきだと思うんですね。
2:35:26	なんかもうこれでいきますっていう最終決定みたいな書き方になってるんで、
2:35:31	少なくともその検討フローが両方とも、
2:35:36	お互いに納得できて我々も許可できそうな条件になるまでは、ちゃんと書くべきだと思うんですけどいかがでしょうか。
2:35:45	北海道電力の吉江です。ご指摘の件承知いたしましたちょっとこちらについてはモデルの妥当性等の説明、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:54	がまだ完了していない状況ですので、そういったところを注記してちょっと今後変わり得るといところがわかるような、変わり得るといいますか
2:36:07	今後の検証によって場合によっては変わる可能性があるということがわかるように、記載したいと思います。以上です。はい。よろしくをお願いします。
2:36:16	あとちょっと、
2:36:17	海底の液状化を、
2:36:20	を考えたときにちょっと思ったんですけど説混入の時に出勤事故になるかもしれませんが、
2:36:26	理由入力津波設定後にですね、包丁てや止水ジョイント等の構造設計に用いるはずの算定にあたってはですね、改正の単位単位体積重量 1.03 案トンパー平米。
2:36:41	ではなくてですね、海底地盤すまんとかSM液状化が収まらない状態での津波の襲来も考えてですね。
2:36:51	砂まじり替え、直んまじった時の海水の単体重量、
2:36:57	1.2 から 1.3 程度を用いて発を算定するケースも考慮する必要があるんじゃないかと。
2:37:05	例えばですね海底地盤。
2:37:07	もうお砂のSYSが議事録発生する、S s 地震の 2 泊の標準津波候補の中で、
2:37:16	津波の第 1 は、
2:37:19	一番はい。
2:37:21	到達時間が約 14 分なんですね、このときの津波高さが約 T + 7.4。
2:37:28	この 14 分の中に、液状化で生じた
2:37:35	津波の粒子が沈降するんだったらいいんですけど、沈降するかしないかわかんないですね。
2:37:42	他のサイトは大体、
2:37:44	三、四 10 分ぐらいでほとんど大きな粒径は沈降すると思うんですけど、
2:37:49	泊の場合はですねエスワンのD50がですね、0.1 から 1 ミリ程度って結構小さいということと、ベースのD50がですね、0.
2:37:59	2 から 0.3 という粒径なのでここら辺のですね、進行速度も踏まえて、単体、重量、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:38:09	いわゆる砂まじり回収の単体重量を検討しないかどうかはですね今後、設工認前にあたってですね、検討する必要があると思うんで、
2:38:21	その点をお願いしたいんですがよろしいでしょうか。
2:38:27	北海道電力の吉江さんご指摘承知しました。ちょっと砂まじりの海水による発の影響というところですけども、
2:38:37	沈降速度等も踏まえた上でちょっと検討を進めたいと思います以上です。
2:38:43	私から以上です。
2:38:48	規制庁藤山です。先ほどちょっと仲さんの方から感度解析についてはまだ今、いろいろ検証中ということで今回、変わり得ることがあるかもしれないってのは追記される、これ理解しましたで。
2:39:02	そしたらですねちょっと今ふっとちょっと思ったんですけど、
2:39:06	今後、これで多分作業スケジュール上の
2:39:10	中での日っていうのは4月の中旬ぐらいを多分予定してて、ほんで今の作業スケジュールは6月の末にすべてを説明するで、
2:39:21	7月の中旬に説明する。
2:39:24	意味。
2:39:24	ていうのは、これは私は何かそもそも何か、何だろう、方針方法なんかあらかじめ何か説明することが何か目的っていうふうに理解してて、
2:39:34	今何かこの場だと何か方針がなんかあんまり、
2:39:37	まだ決まってないようなちょっとイメージがちょっと持ってですね、この辺って何か。
2:39:42	北海道電力の方で何かこう、説明の時期とかいう考えに関する考え方ですかね、その辺で何か今ありますかね。
2:40:07	北海道電力の高須です。そもそも4月の10、
2:40:11	中旬に、これをかけるという意味はですね最終的に管路の妥当性を含めてですね、入力津波を決めるのが今6月で一通りの説明しようとしてございますので、
2:40:25	それに向けて、パラスターの感度解析のパラスターであったりとか、平面二次元のパランスだとか、その辺を決めたいと。
2:40:39	いうところで損、もともと設定しているものでございます。
2:40:44	ただいまおっしゃられた通り、不該当できてない。
2:40:49	部分がいくつかあって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:52	それ一んが、次の2回目で反映できないんだったらあまりかける意味がないんじゃないのっていうご指摘。
2:41:03	ですかね。
2:41:05	規制庁ちゃいます私が頭撮りたいのはあれですね。
2:41:10	そもそも何かすべての結果が、
2:41:13	あれですか手戻りがないように作業を進めるというのが目的であって、その目的に対して何か今今回のこの4月の中旬でやろうとしてるところの、
2:41:25	なんだろう。
2:41:26	北電が何を、
2:41:29	固めたいのかっていうのがちょっとメンコン今回の資料でちょっとすごく見えづらくてですね。
2:41:34	今の話だとあれですかね、管路解析の、
2:41:37	要は、解析モデルというよりも、パラスタ。
2:41:41	の考え方っていうところに、
2:41:43	なるってことですかね。要は貝付着だとか、スクリーンとか等50ページ以降の放水施設の損傷、
2:41:53	んだとしたらそれ以外を今回説明資料としてたくさんつけてる。
2:41:58	ことの何か意味合いがちょっと私がちょっと今わからなくなってきてですね要は比木なミイ、
2:42:04	とカー、まあ、一応、これ10月3日に1回やったじゃないすかでそっから差分が確か引き波が、
2:42:11	やりましたと後で流速の観点でちょっと検討を加えましたっていうのが、
2:42:17	あってそれが要は方針に類するものかというとなんとなくタダノ報告にしかちょっと私見えなくてですね。
2:42:25	うん。
2:42:29	一応前半の方については、昨年1度ご説明させていただいて、
2:42:36	今おっしゃられた通り、今回、引き波のやつが追加になってますんで、引き波ミイについても、こういう考え方で、先ほど秒数の話、
2:42:51	説明しましたけれども、そういったところを認識合わせして、最終的な
2:42:59	解析結果を出す。
2:43:02	手前で、お互い認識合わせ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:43:06	ていうことで、会合にかけたいというふうには思っています。
2:43:12	単なる報告というよりも、前回去年かけたときは平面二次元関係のパラスターの、どういうものを行います。
2:43:23	と5メートル沈下やりますとか、海域2メートル沈下、それらを組み合わせて最大となるものを行いますよっていうことでご理解いただいたというところだと思んですけどそれと同じような形で、
2:43:37	引き波側についても、今回、
2:43:41	追加が出てるので、
2:43:44	お諮りしたいっていうことで、
2:43:47	を目的としています。
2:43:50	規制庁千田ですけど、ちなみにこの引き波がについては別に考え方のパラスタのそのフローに沿ってやってるんですよ。
2:43:58	別に考え方を変えたわけじゃないってことですね。
2:44:01	うん。私はやっぱ結果的な話に近いかなってちょっと今印象を受けました。はい。
2:44:27	規制庁の、
2:44:31	規制庁の江寄ですけど、これは今、今は、
2:44:36	さっきアトベ、
2:44:37	さっきiアトベミヨシ。
2:44:42	多分ですね。
2:44:44	ある程度入力津波が、さっき言った水と水量も含めて全部決まった段階で、結果も出た段階で1回、
2:44:52	ただ、最大、
2:44:55	上昇量で、
2:44:56	決めましたといったところから、こういった観点から不
2:45:00	増えたものがあるっていう話はまた説明していただく必要があるとは思んですけど。
2:45:05	それがある程度どうを、
2:45:08	何だろう。
2:45:10	少しずつ出てくると、またわからなくなるそれ全体が、
2:45:13	すべてそろったと書いて説明いただいたほうがわかりやすいかなと思いますけどね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:21	北海道電力の高橋ですけれども今おっしゃられた通り結果もすべてであった状態で説明するのが一番わかりやすいというのは私も思うんですけれども、
2:45:32	今甲斐関井が結果がまだ終わってないんですけれども、最後に全部まとめてやったときに、やっぱり、ここはやっぱり追加した方がいいって当然そういうのも出てくるとは思うんですけれども、
2:45:45	それを少しでも少なくするためにその前提条件となるようなところを、結果が出る前に、一応、
2:45:55	共通認識を持ちたいなという。
2:46:03	がん管路解析と
2:46:07	引き波が思う、概ね
2:46:11	理解、共通認識に、
2:46:14	なってるかもしれませんがどれも含めてというふうには、当初思っておりました。
2:46:22	それ、
2:46:38	規制庁の江寄ですけど、今までのサイトでいうと、多分全部そろった上で審査会合をかけると普通なんですよね。
2:46:48	少なくともだから、入力津波とかそういう単体、またその日漂流評価、取水性とか、内郭防護とかそういった中で、ブロック分けを、大きなブロック分けで説明が受ける分野、会合やる分にはいいと思うんですけど。
2:47:03	あまりも局長的なところばかりやりすぎると全体像がミシマミヨシなので、
2:47:09	基本的にはまとめてやった方がいいと思います。入力津波の設定だったり6サノ設定だけで、
2:47:15	結論が決まった段階でこういう考えでありましたっていう。
2:47:19	ところ持って説明いただければいいのかなと思いますけど。
2:47:25	はい。北海道電力の高橋ですおっしゃる通り先行は皆さん結果をもってやられてるってのはもう重々承知をしてる中で、
2:47:35	我々本当に特殊呉だったと思うんですけれども、論点等スケジュールの中のところで、
2:47:44	基準津波が確定する前に、方針を説明させていただくとかっていう形で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:51	お話をさせていただいてるので、本来であればおっしゃる通り結果含めて全部かなとは思いますが、ちょっと特殊ですけども、
2:48:01	昔は意見徴収会とかいろいろあったわけですけど、それは宗専門員に対して何を、
2:48:08	聞くのか、多分論点があるから、そこに関して、お諮りするっていう、
2:48:13	ことなんですよ。ここの介護も一緒だと思っていて、私は、
2:48:17	そうすると、ここですでにハザード側で、いわゆるこっちのプラント側の方も含めて、
2:48:25	加古川引き波時間、
2:48:28	で判断した。
2:48:30	方がいいとそれはなぜかっていうとプラント側でその引き波時間、
2:48:33	その都度それだけど、水力、
2:48:36	食べた。
2:48:37	貯留量が、
2:48:39	十分足りているか足りていないかという。
2:48:42	評価の評価をしているので、それに即した
2:48:47	基準津波の選定をした方がいいという話があるので、そこにと、特にそんな大きな問題はないんじゃないかと思っています、
2:48:56	であれば、今午前中に話があった、逆に言うと、流路縮小工等、
2:49:02	この泊の津波の、
2:49:06	特殊性、これを踏まえたものが一番論点になっていて、
2:49:11	逆に流路縮小工だけではなくて津波の特性もあって、非常に、
2:49:17	大津のいわゆるチャンピオンケースが、
2:49:20	絞りにくくなってしまうと、今までみたいにそう。
2:49:24	流入口でと高さだけで判断できるものでもなさそうだっていう話も出てきているので、逆に言うとそれが論点なので、
2:49:33	それが出てきた段階でこれで例えば
2:49:39	入力津波の選定の考え方。
2:49:42	がこれで十分かどうか。
2:49:44	ていうことを、委員も含めて、会合かけるなら多分意味があるんだと思うんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:49:49	それ以外で
2:49:51	誰が見ても特に問題ないなんていうのは、特に介護、
2:49:56	それを、
2:49:57	説明する必要は、説明するというよりはそれを特化して宗田ためのために会合をやる。
2:50:03	必要はないのかなと、何かと、抱き合わせでやればいいだけの話かなと思ってんですけど、いかがですか。
2:50:14	北海道電力の高橋です。以前から泊の場合論点スケジュールの方で大分先行して、方針とかをご説明しますというふうに言ってる場所もあって、
2:50:28	今江崎さん言われているのは、本当にそうだなと我々も思うところもあるんですけども、
2:50:35	ちょっと今その論点スケジュールのところの記載についてちょっと確認しますのでちょっとお待ちください。
2:52:32	はい。北海道電力の高橋です論点スケジュールルート化でご説明してこうやりますっていうところは確かに始まっているところもありますので、
2:52:41	さらに今回入力津波の説明として、すでにご指摘いただいているところを回答できてない部分が、今日の断面でもありますので、
2:52:54	確かに次4月の断面で、お諮りするのがいいのかどうかというところは、今一度考えて、
2:53:04	確認していきたいと思います。
2:53:11	ミヤザキですけども、例えば燃料セイノように、
2:53:16	かなり規制側も申請がもう暗中模索。
2:53:21	の状態対策を、
2:53:23	どういう対策をしたらいいのか。
2:53:25	今までの実績がなさすぎて、暗中模索のような状態であればお互いに、
2:53:30	どこまで話が進んでいってそれが可能性があるかないのかというそういう案の段階で協議するのは、審議するのは意味があると思うんですけど。
2:53:41	今回見てみてある程度、
2:53:43	決まった段階で確かに新たなものもあるんだけど課題が新しく課題が生まれていて、かけたとしても新たな課題がありましたということしかできないような状態だったら、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:53:53	時間的にあまり意味ないでしょうしそちらはそれで、今、いろいろ課題が抱えている中で、それに解決に対しての2割と時間を集中した方が、
2:54:03	有効かなと。
2:54:05	基本的には4月についていう話はあるんだけど4月の中で多分、まだ燃料組成の話だってありますよね。かなり大きい問題が結構あったりして、
2:54:14	例えば漂流の中でもと漂流の可能性があるね、国道上の通過車両だとか、いろんな所ありますよねそこで説明が、
2:54:22	できるものはせた、こういう対策をするんで大丈夫ですっていうんであればそれは、
2:54:27	すごく有効だと思うんですねそれがそう。
2:54:30	何らか、どう記録みたいにまだ、
2:54:33	懸念材料があるのかないのか、そういったことをこの前みたいに、
2:54:37	審議するのはすごく有効だと思うんですよ。
2:54:41	新たに別の方法を考えた方がいいんじゃないかとかそういった話が出てくるわけで、有意義な会合だと思うんですけど、今の状況だとまだやらなきゃいけないところが中途半端にあって、
2:54:52	そういった状況で、結論がまだほとんどわからない状態。
2:54:57	ただ、それはある程度検討すれば、答えられるものですよ。今のところ答えがなさそうだという話ではないので、
2:55:07	例えば水理実験もそうですよと3次元シミュレーションも、答えがないわけではないん、答え必ずある。
2:55:15	だけど燃料組成はわかんないですよ。お互いにやったことない。
2:55:20	うん。
2:55:21	いいね分野に入り込んでいないので、
2:55:25	そういったモノとは違うので、それは、
2:55:29	次の4月に何をご説明するのか、もう1回検討した方がいいんじゃないかと思うんですけど。
2:55:37	はい。北海道電力の高橋です。今もおっしゃられた通り、
2:55:42	燃料輸送線に比べて、この入力津波、なんか若井がないわけではないし、先ほど来議論してた、今まではその水の観点で、
2:55:54	評価していけば、それでよかった。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:57	と思うんですけど、泊の特徴をとらえた時に、増井伊井ではないってというような状況もちょっと見えてきた段階で、それが論点となって、そういったことをやっぱり会合でかけるべきでしょうって。
2:56:09	おっしゃる通りだなと思いますので、そういった意味でC月というよりも、この入力津波に関して言えば、
2:56:19	ある程度本来の先行他社と同じように結果がある程度もう、
2:56:26	た状態で御説明できてこういう状況なんですってということもロジック含めて説明できるのが、一番いい姿なんだろうなというふうに、もう、
2:56:37	ますので、
2:56:38	ちょっとアノを持ち帰って全体、考えてみたいと思います。
2:57:17	事業者で今ちょっと確認中です。
3:02:10	北海道電力のタカハシです社内で社内でっていうか事業者の方で確認、今後もしますけれども、今回の入力津波に関しては、
3:02:23	先ほど来、議論してる内容もあって、ちょっと中途半端でかけるよりは、もう少し結果踏まえて、さらに、今調べなきゃいけない。
3:02:34	出てきてますんで、そこをしっかりと見据えた上で、
3:02:39	会合にかけるっていうような段取りをするようなことで、考えていきたいと思います。志賀通がこれ入力津波ができなかったとしても、
3:02:50	他にも輸送線ですとか、いろいろメニューとしてはありますので、そういった形で全体、スケジュール含めてですね、か考えたいと思います。
3:03:03	イトウ規制庁フジワラですそれではずっと質疑を続けたいと思います。
3:03:13	規制庁熊谷です。
3:03:17	記載のところですけども資料1-1で、75ページの一番最後のところで、
3:03:24	数字とする項目と説明時期を書きいただいているんですけども、
3:03:31	これは
3:03:33	数字とされてる。
3:03:35	項目に対して、
3:03:39	記載箇所っていうのは、これ何か、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:03:43	と、どういった観点で記載箇所って示されてるんすか。これ、代表的なところを示していただいているところです。
3:03:50	すべてを書いているわけでもないのかなと思ったんですがそこら辺はどういうふうに整理されてるんでしょうか。
3:03:58	北海道電力の吉井です。
3:04:02	この記載箇所は、ちょっとすべてが網羅できているかというのと、ちょっとそこまでではないですけどもこのツジ、
3:04:10	とする項目に対して一番大きいところといいますか直接的な記載箇所、
3:04:18	に関してこちらでリンクを飛ばしているというような状況でございます。以上です。
3:04:26	規制庁熊谷です。
3:04:28	はい、わかりました。だから書く、
3:04:30	項目を確認しようと思ったなら記載箇所のところ、
3:04:34	見ていけば大体、
3:04:36	反映されていくような形になるっていうことですね。はい、わかりました。
3:04:41	あとそれと、
3:04:42	これ本当に記載のだけですけど、
3:04:44	このPPTっていうのは、
3:04:47	どういう意味なんでしょうか。
3:04:50	北海道電力誘導してすいませんこれパワーポイントの略で書いてしまったんですけど、ちょっとここで書く等適切ではないのでちょっと表現を見直したいと思います。以上です。
3:05:05	はい。規制庁熊谷です。はい、わかりました。
3:05:09	あとは
3:05:13	資料1-1 全体的な記載ぶりについては、また、
3:05:17	内容、
3:05:19	見直していただけるんだろうと思いますので、
3:05:22	そこについてはまた
3:05:24	全体的にわかりやすく記載をしていただければと。
3:05:27	思います。
3:05:31	ちょっと見てて気になったところだけ、
3:05:34	ポツポツと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:05:36	コメントしますと、
3:05:38	16 ページのところで、
3:05:41	右側に、
3:05:43	あるんですけど、
3:05:45	図を、
3:05:46	表をつけてもらってますけど、この表自体だと、
3:05:49	ちょっと、
3:05:50	何をどういう表なのかってのがわかりづらい。
3:05:53	なと感じました。
3:05:55	あと 20、
3:06:00	21 ページのところについて、
3:06:03	検討結果っていう項目があって、
3:06:07	内容を記載していただいているんですけども、
3:06:10	まだこれ検討結果、
3:06:12	ではなくても検討している、検討して何を検討しますとか、
3:06:17	そういったものが記載されてて、
3:06:19	と。
3:06:21	項目と内容が、
3:06:23	ないようなところがあったりとかですね。
3:06:27	例えば 25 ページとかのところでもですね、
3:06:32	定量的評価、遡上解析っていう、
3:06:35	黄色い枠の中の三つ目のところの中で、
3:06:38	立場のポチで、結果は、
3:06:41	P29 より示すってあるんですけど、
3:06:44	これって、
3:06:46	もうここで結果まで示したいと思って書かれてるのか。
3:06:51	で、29 ページように示すって書いても 29 ページだけで示されてるわけでもなくて、
3:06:58	何だか。
3:07:01	ここで書いてる趣旨がよくわからないなと感じた次第です。あとさらに、
3:07:08	言いますと、例えば 60 ページのところとかでも同じよ
3:07:14	一番上のところで①のところですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:07:18	黄色囲みの中でパラメータスタディにより、P46に示す地形変化を抽出したってあるんですけど、
3:07:25	46ページ見てもあまりそういったものが示されてなくて、
3:07:29	ページ数をそもそもここで、
3:07:31	示した。
3:07:33	主事のはっきりよくわからないなあというふうに感じました。
3:07:42	あとは他の日、
3:07:43	小、このページのところでもですね。
3:07:47	衛藤。
3:07:49	うん。表の中表の項目とかですね。
3:07:53	文言とかいろいろと、
3:07:56	それ見ただけではっきりしないようなところが幾つ幾つかありましたので、ちょっと全体的に見直していただければと思います。
3:08:04	あと、もう1点だけ言うと68ページのところで、
3:08:11	津波発のプロセスに記載されていて、評価項目については津波初となっていて、
3:08:18	添付資料22でご説明するとあるんです。
3:08:22	添付書22っていうのが、
3:08:24	資料情報、今回の資料では示されていないかと思いますので、
3:08:29	これは、
3:08:30	今後説明するってことですかそれは、おつき合いをつけそびれてるってことなのかそこだけ。
3:08:36	教えてください。
3:08:37	北海道電力の吉井です。添付資料22こちら波力食うに関する説明資料で、ちょっと今後といいますか、ちょっと波力の議論の中で、
3:08:48	ちょっとこちらご説明させていただこうと考えています。以上です。
3:08:59	北海道電力のイセアノアノでちょっと今回の入力津波の資料としてはつけていないということになります。以上です。
3:09:09	規制庁熊谷です。
3:09:11	はい。
3:09:12	ここではだから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:09:16	今回、今回の視野に資料として、何を説明したいのかってのが資料見ててですね。
3:09:22	よくわからないような点がたくさんありまして、
3:09:24	そういったところは
3:09:29	説明する資料になりますので、一応、
3:09:32	読んだ人がわかるような形にさせていただければと思います。私からは以上でございます。
3:09:45	北海道電力の吉井ですご指摘しようとした今いただいたご指摘踏まえた資料全体をもう少しわかりやすく適正化を図りたいと思います。以上です。
3:10:15	規制庁藤井です
3:10:17	何となくこの資料見てるとですね何か
3:10:20	この資料作った担当者とかあと、津波波力の担当者とかいろいろあったり、それぞれの連携というか資料館の繋がりだとか、
3:10:30	あとそもそもとして今回の泊で結構特殊で、要は全部出揃う前に途中段階で説明してです。
3:10:39	津波波力が進んでこ、入力津波が進まなかったりとかいろんなへの7時、
3:10:45	その時刻ごとで結構刻々と変わって、かなりその資料の作り方も大変だとは思いますが、
3:10:51	でも、実際にこの資料をこの公の場で出すものに関しては図整合がきちっとやっぱ図らないといけないと思うんですね。そういう観点ではきちっと資料については、今一度ですね品質を高める観点からも、
3:11:04	今後やっていただきたいなと思うんですけども、よろしいですか。
3:11:12	北海道電力の高橋です。対津波設計方針、いろいろ波力もあります漂流物もありますし、さらにこの入力津波ってことでそれぞれの進捗状況を
3:11:24	きちんと管理しながらですね、資料をこの入力津波の資料においてもですね、平仄が合うようにですね、
3:11:35	をしていきたいというふうに思いますので、そういったところも考えながらスケジュール考えて、
3:11:42	会合をスケジュールですとかそういったところも考えていきたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:12:01	規制庁の石田です。
3:12:06	クマガイの方からちょっと話が出た件で、添付資料、資料の22が、
3:12:12	ついてませんっていう話をちょっと私も、
3:12:16	伺いたかったんですが、
3:12:19	津波波力ですね、検討については以前ですね、防潮ての構造健全性評価を急がねばならないというようなお話があって、
3:12:32	とりあえずどういった、
3:12:35	津波波力を検討するための条件をどう決めましょうかってことを、
3:12:40	何ヶ月か前ぐらいかにいろいろと、
3:12:44	お話をさせていただいたような気がするんですが、
3:12:48	その辺は、
3:12:51	いつぐらいに、今度は次、波力評価というかですねそこら辺はどういうスケジュールでこれが進むんでしょうか。
3:13:31	北海道電力の植原ですけれども、波力腔のところにつきましては、今ちょっと
3:13:40	いろいろな項目の間の連携等を図りながら資料を作成して準備を進めているところでございます。ちょっと予定確定的なところは申し上げられないんですけれども、
3:13:51	5月ぐらいの会合を一つのターゲットとして、ヒアリング等、設定させていただきたいかなと考えているところです。こちらについて
3:14:02	決まりましたら正式に申し込みとさせていただきます。
3:14:17	規制庁の石田ですけども、
3:14:21	5月会合目途ということですので、ヒアリング等で、ここら辺の資料が出てくるのが、
3:14:28	3月ぐらいというような、そういうイメージでよろしいでしょうか。
3:14:33	はい。おっしゃる通りでして今3月の下旬ごろの
3:14:39	資料提出を、1回目のヒアリングに向けた資料提出を
3:14:44	できしたいなと思っているというところで、
3:15:06	はい。3月エンドぐらいに資料が出てきて、4月上旬ぐらいに、
3:15:17	大丈夫。
3:15:21	規制庁志田です。失礼しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:15:58	はい。5月ぐらいの会合目途ということで進めていただくということで、それで一つお願いなんですけれども、この
3:16:07	パワーポなんかの資料上ですね、アノ、例えば、68ページのところだと、68とか69ページのところ見ると、
3:16:16	添付22で説明する或いは添付22参照というふうに書かれております。そうすると、一生懸命探すんですけれどもね。なので、
3:16:29	今後その22としてここについては、説明するというのであれば、何かツジであるとか、それがわかるような記載にしておいていただけないでしょうか。
3:16:45	北海道電力の遠藤先生申し訳ございませんでした。ちょっとツジであることは分かるような形で資料の適正化を図りたいと思います。以上。
3:16:56	はい。規制庁石田です。了解いたしました。私からは以上です。
3:17:12	規制庁大橋です。資料1-2のまとめ資料の、
3:17:16	136ページから137ページ。
3:17:19	136ページに、
3:17:22	遡上解析の計算条件について説明があり、あって、
3:17:27	136ページの表の中に書いて摩擦はマニングの粗度係数 $n=0.03$ 、これは土木学会の2016に基づいてるっていう記載があって、
3:17:39	その説明として136ページの上の方に、
3:17:43	地上に遡上してからは、その範囲は海域に近いので、海域と同じ0.03を使うっていうぐらいに書いてあって、
3:17:53	137ページに、土木学会2016の抜粋があるんですけども、
3:17:58	その海域の数字が0.025と0.03と、二つの数字が書いてある。
3:18:07	で、
3:18:08	0.025を使わないで0.03を使ったっていう根拠が、説明がないので、
3:18:16	その説明を加えて欲しいと思うんですがどうでしょう。
3:18:22	北海道電力のエンドウCSご指摘承知しました今、0.025と0.03二つの値があり、ちょっとこの中で、0.03を採用した理由等ちょっと、
3:18:36	ちょっと補足したいと思います。以上です。
3:18:40	規制庁大橋です。
3:18:42	ハザード側で、ここは考えて決めただと思いますんで、そちらと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:18:47	あわせて、
3:18:51	記載を充実していただきたいと思います。以上です。
3:20:29	と、今庁内で打ち合わせ中で少々お待ちください。
3:23:49	衛藤規制庁フジベ生と庁内打ち合わせ終わりました。それでは、まず、会議室参加されてる方で資料全般を通じ何か確認したいこととか、
3:23:59	よろしいですかね。ウェブで参加の方で、
3:24:02	確認。
3:24:03	大野さんお願いします。
3:24:10	規制庁のです。ちょっとパワーポイントで教えていただきたくて、
3:24:15	まずこの17ページ。
3:24:18	なんですけれども、
3:24:19	この入力津波の検討フローの
3:24:23	2.3のところですね、右の図で、
3:24:31	③の地殻変動があって、先行プラントはサンエーの地殻変動を考慮してるんだけど、泊については、先行と違うけれども、
3:24:41	さらにPOS的に3Bの
3:24:44	地殻変動量も考慮するっていうことでいいんですよね。
3:24:53	北海道電力のSASちょっと事業者を確認します。
3:25:41	北海道電力の吉井です。シマ根井とか先行でも津波波源の地殻変動量と基準地震動の
3:25:52	変位による地殻変動量を考慮して地殻変動を足し合わせるということはある。
3:25:58	という状況でございます。
3:26:01	規制庁のですありがとうございますあシマでもやってるんですねすいませんそちらの状況を把握してなくて、衛藤ちょっと60ページ今度行っていただきたくて、
3:26:11	アポのですねさっきの③の地殻変動量のところで、今度水位下降側の方は、
3:26:18	さっきには書いてなかったんですけど、余効変動っていうのも加算しますって書いてあって、
3:26:24	まとめ資料の方見ると、
3:26:28	この横ベンドっていうのはあれなんですかね女川とか、センコーのナカとかだと敷地、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:26:34	多分、
3:26:36	進行量で社協名が大きかったから、何かこう、
3:26:40	自分たちの発電所で、ちゃんと、
3:26:43	どれだけ人口したのか把握してますよみたいな評価してたと思うんですけど、泊については、別にプラントで、何か数値を把握してるんじゃないくてあくまでも文献。
3:26:55	といますか、
3:26:57	自分たちの発電所の近傍の、
3:27:02	一番近いところが何かのどっかの、その隣の町とかの、
3:27:08	数値を使って、この0.12メートルっていうのを出してきてるってことでいいですか。
3:27:16	北海道電力の吉江です。ご認識の通りで泊発電所においては横変動の評価で近傍のDた保守的なところを採用してそれで
3:27:34	横変動量というのを評価してございます。以上です。
3:27:38	規制庁ですわかりましたありがとうございますちなみになんですけど、
3:27:43	発電所でも、評価してるんだけど、全然値が出てこない。
3:27:49	出てきてないと。
3:27:50	ことですかそれとももうそもそもアノははなからその横変動なんて見てないですっていう。
3:27:58	なんですかね。
3:28:13	北海道電力の吉井です。発電所の方では横変動量の計測は行っておらず分、文献から持ってきた値となります。以上です。
3:28:26	規制庁のですありがとうございます。
3:28:30	これですみませんパワポの件が終わりましてありがとうございます。ちょっと
3:28:36	別件といたしますか、ごめんなさいこの間の40条のときのヒアリングでちょっと、
3:28:43	聞きたかったんですけど聞き忘れていて、ちょっとその関係で
3:28:48	この五条川で返していただかなくていいんですけども、40条の方で、今度併せて会の回答していただきたいんですけどその質問も今してしまってもよろしいでしょうか。
3:29:07	北海道電力植原ですけれども。はい。
3:29:12	40条での会長というすることになるかもしれませんけれどもご質問、
3:29:20	コメント等ございましたらお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:29:22	はい。ありがとうございますすみません
3:29:25	耐震チームの下、皆さん申し訳ございません。ちょっとこの場を借りてちょっと質問させていただきたいと思います。ちょっと聞きたかったことはですね、
3:29:36	40条の取水性の評価で、
3:29:41	原子炉補機冷却水ポンプの
3:29:45	評価に加えて、可搬型の強化しているじゃないですか。
3:29:51	可搬型のポンプっていうのは有効性評価で、4時間後に投げ込んだ後の取水性の影響を確認しますって言うていて、
3:30:01	ちょっとわからなかったのが、そもそも論として、
3:30:06	可搬のポンプの基準適合の1ずつ決定、40条で必要なものなのかどうかっていうところのその選考かな、なんでそれを評価してるのかっていう考え方をちょっと教えていただきたいんですけどですね。
3:30:19	具体的に言うと、
3:30:21	40条の基準適合上って原子炉補機冷却海水ポンプが基準津波に対して機能維持するっていうことを確認して、
3:30:33	片やその下、可搬ポンプの方って有効性評価の話で、津波との重ね合わせっていうのを
3:30:40	有効性の方で別に考慮してるわけじゃないかなと思っていて、なぜその40条側で、
3:30:47	可搬ポンプの
3:30:49	設計方針を変えているのかっていうところを、ちょっとその先行の経緯とか、わかれば教えていただきたいんですけど、もしかしたら
3:30:58	安全性を考慮して、過去からタダタダ事業者みずから、可搬ポンプについても、
3:31:06	基準津波に対する設計を見てますっていうだけの世界なのかもしれないんですけどもちょっとそこの前提っていうのをすいませんこの間確認し忘れていておりましたので、ちょっとその回答がわかれば、今度、
3:31:19	40条のヒアリングいつ、
3:31:21	次ちょっと後になってしまうかもしれないんですけど、
3:31:24	回答していただけたらと思います。
3:31:30	北海道電力植原です。S40条の中で取水性の評価として歳暮のポンプ車の評価をしておりますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:31:41	こちらについては大野さんおっしゃられる通り津波との重畳というのは考慮しない前提ではございますが、現状、先行プラントの
3:31:54	まとめ資料ですねこちらも参考にして泊でも評価を行っているという状況になります。ちょっとこちらの必要性とか書いている経緯みたいなところは今即答できませんので、
3:32:06	確認の上、別途 40 条の中でご説明したいと思います。
3:32:12	すいません。お手数おかけいたしますけどよろしくお願います。私からは以上です。
3:32:21	はい。
3:32:22	規制庁千原ですその他は全体を通じて規制庁側からよろしいですかね。
3:32:28	はい、じゃあ、本日の今事実確認事項について整理をしたいと思いますので、一旦文字起こし予定します。
3:32:37	はい。規制庁フジワラですじゃ強度事実確認事項を整理しましたので読み上げます。
3:32:42	揚水施設の損傷のコールに関する影響確認方法について平面にじん解析と同様フロー等を用いて、カノウナカイ蓋を整理し説明すること。
3:32:52	その次は損傷 1 括弧鎮火において設定 20 を追加した理由わかるよう記載を充実し、説明することまた接点充当設定を設定した理由について記載を充実、説明すること。
3:33:05	その次が、地すべり地形②と③の滑り安定性評価については、S s を用いた同定解析により求めた滑り安全率を用いて説明すること。
3:33:16	その次は取水口水位の変動量は最高津波波源と流路縮小工設置した場合のピットスクリーン室の水位が最高ざる波源をとることを踏まえて、溢水高の水位による評価のほか、
3:33:27	継続時間、各戸流入水量の観点等を検討の上、入力津波、各戸特に管路を経由して、敷地の解放フィティングが網羅的に設定できていることを説明すること。
3:33:42	とその次が、
3:33:44	森下タカハシ加古 2014 等の文献が泊独自を踏まえて適用できることについて整理して説明すること。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:33:51	その次が、管路解析の解析条件解析モデルについて緑色のフローやモデルの妥当性の検討、検証結果により変わる可能性があることをわかるように記載し説明すること。
3:34:03	その次は波力の算出によって砂まじりのかいい水重量による評価の必要性確保進行速度を考慮した検討等について説明すること。
3:34:13	繋がってる。それでは、
3:34:24	はい、じゃあ、
3:35:06	はい。規制庁藤原ですが以上で事実確認事項については以上となりますが規制庁側北電側で何か追加で確認したいことございますか。
3:35:17	よろしいですか。
3:35:19	はい、では、今日の議論は以上とします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。